

特徴

2つのマップが載っています

気づきマップ
逃げどきマップ

安中市

い め すべ
生き抜く術の

これだけはおさえてほしい
6つの心得が載っています

こころ え ちょう
心得帖

洪水・土砂災害

地震

火山(浅間山)

安中市メール配信サービス

空メールによる登録 annaka@entry.mail-dpt.jp



安中市防災行政無線テレホンサービス

☎ 0800-800-3664 (通話料無料)

詳しくは7ページをご覧ください



安中市

災害対応
ガイドブック

保存版 令和3年度改訂

近年は、毎年のように全国各地で大規模な洪水災害や土砂災害が発生しています。こうした自然災害は、今後も地球温暖化などの影響により、さらに激甚化・頻発化することが予想されています。

「群馬県安全神話」という言葉が示すとおり、群馬県はこれまでも大きな災害が比較的少なく、安全な地域だという意識が根強いですが、昨今の状況を鑑みると、いつ、どこで、大きな災害が発生しても不思議ではありません。

防災の基本は「自助」＝「自分の命は自分で守る」ことです。行政も、公助として、皆さんを災害から守るために最大限の支援を行います。被害を最小限に抑えるためには、皆さんお一人お一人が防災に関する知識や理解を深め、災害に対する危機意識を高めてもらうことがとても重要になります。

また、「自助・共助・公助」の3つが上手く連携することにより、地域を守るための効果的な防災対策を講じることができます。

この安中市災害対応ガイドブック「生き抜く術の心得帖」は、ご自身や大切な人の命を守るために役立つ情報を掲載しています。いざという時にも、落ち着いて判断・行動することができるよう、日ごろから危険箇所の把握や避難方法の検討、地域の防災活動などにご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

安中市長

岩井 均



平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨など、自然災害は私たちの想定に収まることなく、毎年のように日本各地で猛威を振っています。

そんな中、令和元年末からの新型コロナウイルス感染症の流行は、改めて“命の守り方”を再認識させられました。まず、“マスクをする”、“手を洗う”、“3密に行かない”という“あなたの対応・行動”のみが、感染症からあなたの“命を守る”唯一の方法であること。そして、あなたが感染した場合、家族や学校、職場の人も危険にさらすことになり、“あなたの対応・行動”があなただけでなく、家族や大切な人を守ることにもつながっていること。これは自然災害の“命の守り方”でも同じです。

まずは、各自で事前に必要な対応を確認し備えておくこと、そして、避難が必要となったら早めに避難を決断・判断するという“あなたの対応・行動”が、自然災害からあなただけでなく、家族や大切な人の命を守る唯一の手段です。

まずは、安中市が災害時に“どうなる”かを知り、その状況下であなたや家族が“どうなる”かをイメージしてみましょう。その上で、“命を守る”ために、あなたが“どうする”かをこの災害対応ガイドブックで具体的に考えておきましょう。それがあなただけでなく“あなたの家族、大切な人”の命を守る第一歩になるのです。



東京大学大学院情報学環特任教授
群馬大学名誉教授

片田敏孝

心得1 率先して実践・避難

自分の命は自分で守る

災害による犠牲者を無くすためには、市民一人ひとりが、「いざというとき、最終的に自分の身を守るのは自分自身である」という原点に立ち返ることが重要です。「自分は大丈夫」と思いこんだり、誰かに頼りきりになったりすることで、主体的に災害に備える姿勢を失ってはいけません。

つぎに、家族

自分の命を守ることができれば、家族を助けることができます。また、家族でいざというときの対応を確認し、普段から備えていることが、家族の命を守ることにつながります。

そして、地域へ

「率先して実践・避難」し、自分の命、家族の命を主体的に守ることを地域住民同士が共有できれば、たとえ個人での対応が困難な場合であっても、それを可能にする大きなチカラが生まれます。

心得2 想定にとらわれない

ハザードマップは、安全を保証する地図ではありません。

想定はあくまで自然現象を予測するシナリオのひとつであり、想定以上の災害の発生も考えられます。想定が無いからといって安全というわけではありません。

心得3 状況に応じて避難所に限らず、柔軟に避難・対応

避難とは、必ずしも市が指定する避難場所・避難所に行くことではなく、「難」を「避」ける行動のことです。避難のタイミングや周辺の様子から、その場、そのときに最も安全と思われる行動をとりましょう。

自宅の安全が確認出来たら、自宅で避難(在宅避難)しましょう。

心得4 早めの避難をためらわない

避難の判断が遅くなるほど、行動の選択肢は少なくなります。不安を感じたときや避難を迷ったときは、ためらわずにまず行動に移しましょう。

心得5 事前の対応が最も重要

災害から命を守るかどうかは、災害が起こる前後の行動で決まります。そのなかでも、大きく影響するのは、事前(発災前)の対応です。

心得6 みんなで決めて、みんなで避難

避難の決断は、ひとりでは難しいものです。避難を誘う声かけや、一緒に避難する人を決めて助け合いながら避難するなど、みんなで逃げる方法も考えておきましょう。



生き抜く術の心得帖

もくじ

気づきマップ 3-4 ページ

洪水・土砂災害 5-6 ページ

洪水・土砂災害から命を守る 5-6 ページ

避難を助ける情報 7-8 ページ

避難情報以外の避難を助ける情報 9-10 ページ

逃げどきマップの使いかた 11-12 ページ

逃げどきマップ 13-34 ページ

指定避難所等の一覧 35-36 ページ

地震 37-38 ページ

想定されている地震を知る 37-38 ページ

地震から命を守る 39-40 ページ

火山(浅間山) 41-42 ページ

浅間山噴火の影響と必要な対応 41-42 ページ

備える

みんなで決めて、みんなで避難 43 ページ

指定福祉避難所・避難行動要支援者名簿 44 ページ

災害時の連絡先・問い合わせ先 45 ページ

非常持ち出し品・備蓄品 46 ページ

わが家の避難計画 裏表紙

気つきマップ

このマップは、群馬県による碓氷川とその支川が氾濫した場合の計算結果や土砂災害警戒区域、山地災害危険地区、群馬県の地震調査結果に基づいて、安中市にどのような災害の危険性があるかを示したものです。

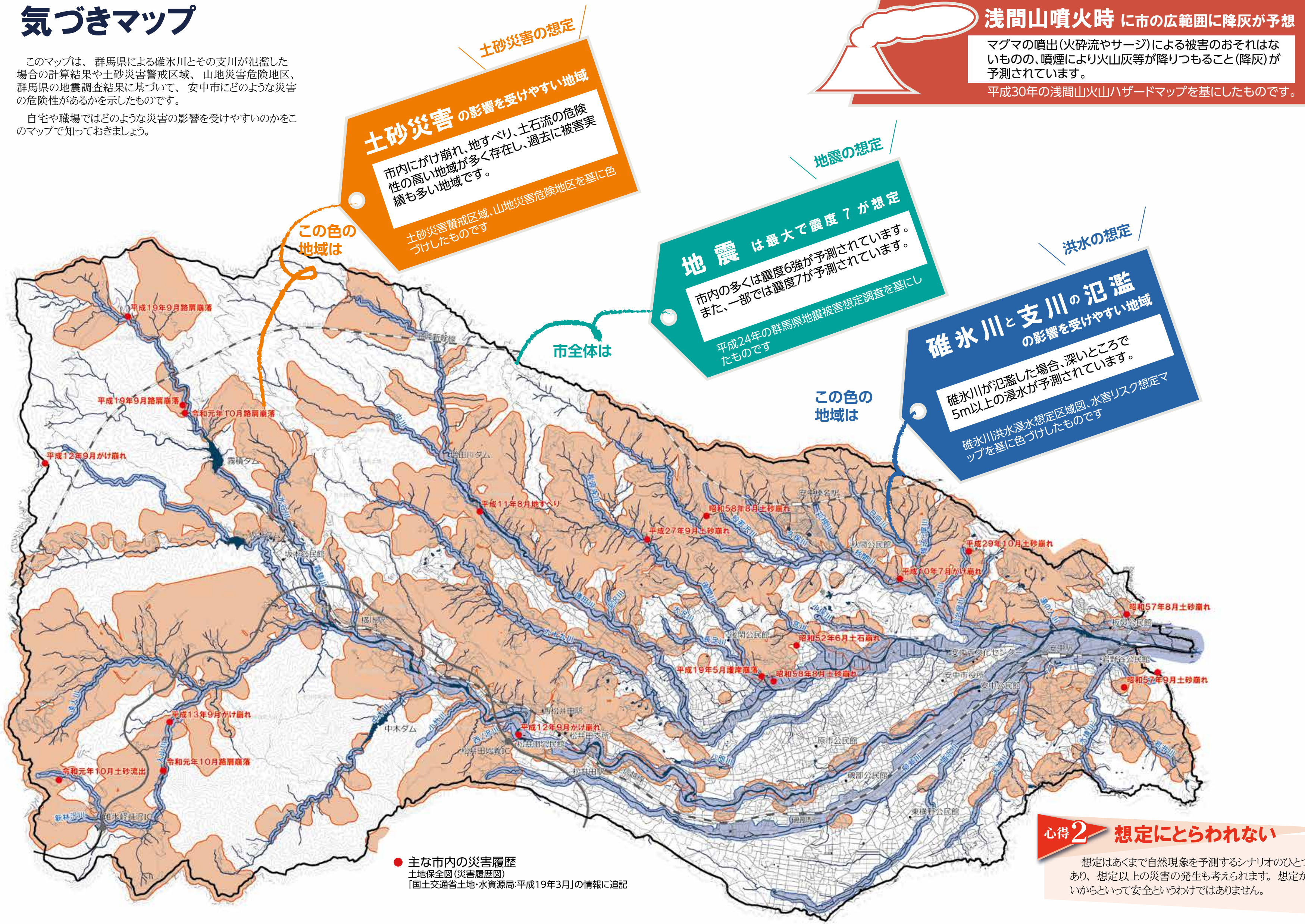
自宅や職場ではどのような災害の影響を受けやすいのかをこのマップで知っておきましょう。



浅間山噴火時 に市の広範囲に降灰が予想

マグマの噴出(火砕流やサージ)による被害のおそれはないものの、噴煙により火山灰等が降りつもること(降灰)が予測されています。

平成30年の浅間山火山ハザードマップを基にしたものです。



土砂災害の想定

土砂災害の影響を受けやすい地域

市内にがけ崩れ、地すべり、土石流の危険性の高い地域が多く存在し、過去に被害実績も多い地域です。

土砂災害警戒区域、山地災害危険地区を基に色づけしたものです

地震の想定

地震 は最大で震度7が想定

市内の多くは震度6強が予測されています。また、一部では震度7が予測されています。

平成24年の群馬県地震被害想定調査を基にしたものです

洪水の想定

碓氷川と支川の氾濫

碓氷川が氾濫した場合、深いところで5m以上の浸水が予測されています。

碓氷川洪水浸水想定区域図、水害リスク想定マップを基に色づけしたものです

● 主な市内の災害履歴
土地保全図(災害履歴図)
「国土交通省土地・水資源局:平成19年3月」の情報に追記

心得2 想定にとらわれない

想定はあくまで自然現象を予測するシナリオのひとつであり、想定以上の災害の発生も考えられます。想定が無いからといって安全というわけではありません。

洪水 土砂災害 から命を守る

心得 3 状況に応じて避難所に限らず、柔軟に避難・対応

避難とは、必ずしも市が指定する避難場所・避難所に行くことではなく、「難」を「避」ける行動のことです。避難のタイミングや周辺の様子から、その場、そのときに最も安全と思われる行動をとりましょう。自宅の安全が確認出来たら、自宅で避難（在宅避難）しましょう。

原則

雨や風が強まる前

早い段階で安全な場所へ

自宅が安全なら無理に外へ出ない

早い段階で安全な場所に避難することが大原則です。

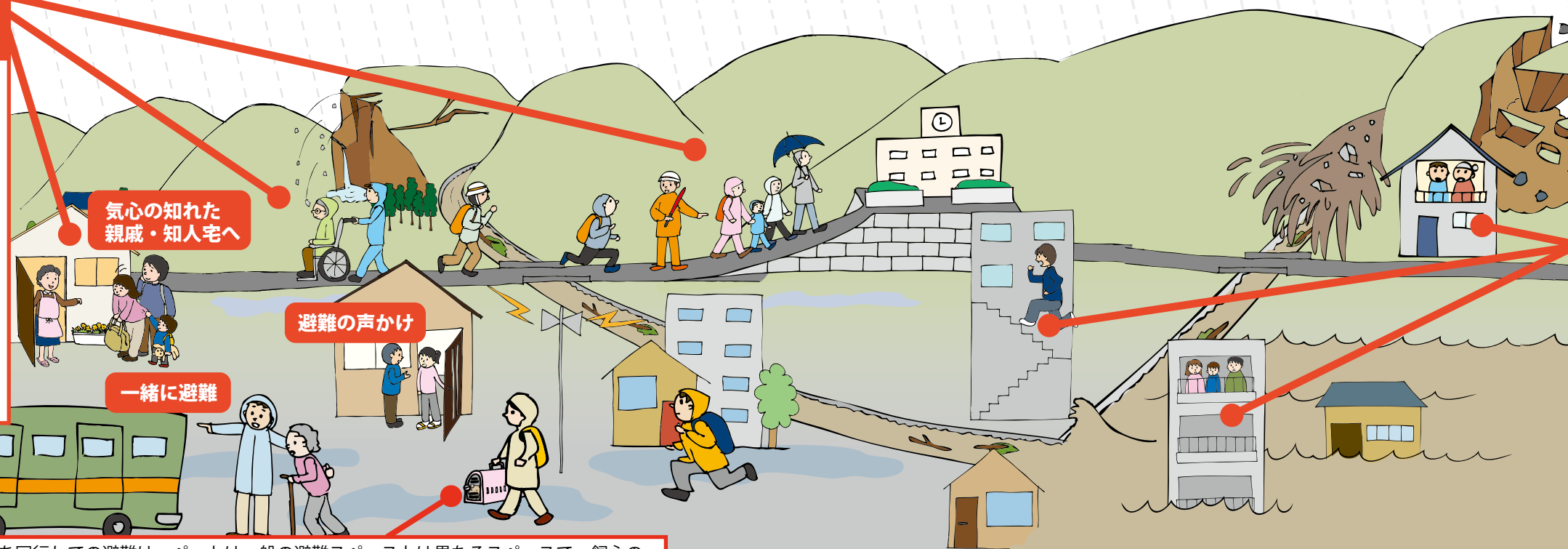
例えば

- ◎高齢者等避難や避難指示を聞いた場合
- ◎事前に大型の台風や大雨が予想される場合
- ◎夜中に雨が降り続くと予想される場合
- ◎予兆現象などいつもと違うと感じた場合

※9ページで確認

どこへ?

- ◎親戚や友人宅、ホテルや旅館など、市内に限らずより安全な場所
- ◎歩いていける最寄りの指定避難所・指定緊急避難場所



ペット動物を同行しての避難は、ペットは一般の避難スペースとは異なるスペースで、飼主の責任のもと管理することになります。ゲージ、リード、エサなどは必ず持参してください。

外出先で

海の近くで地震があったら

大きな揺れやゆっくりと長い揺れに伴い、津波の発生が考えられるため、海の近くで揺れを感じたら、できるだけ早く高いところへ避難しましょう。また、揺れが無くても、津波情報が出ている場合には避難しましょう。

指定避難所：災害で被災し、自宅で生活できない人が一定期間生活するための施設

指定緊急避難場所：災害による危険が迫っている状況で、指定避難所まで避難することに危険を伴う場合などに、緊急的・一時的に身の安全を守るための場所

指定福祉避難所：高齢者や、障害者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための施設

逃げ遅れたら 避難に危険を感じたら

その場そのときの 最も安全な場所へ

逃げ遅れてしまったら、その場そのときの状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

例えば

- ◎逃げ遅れてしまった場合
- ◎浸水の中を避難しなければなら
ない場合
- ◎浸水や土砂が迫ってきた場合

どこへ?

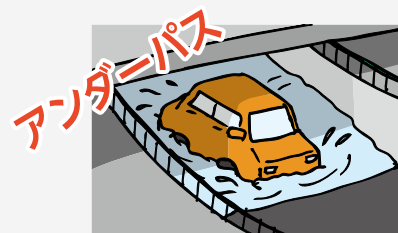
- ◎高くて丈夫な建物や高台
- ◎自宅の高いところ、斜面から離れた部屋
- ◎指定避難所・指定緊急避難場所に
限らず、駆け込めるところ

危険

洪水時には普段では気がつかない危険が潜んでいます

◎浸水の中を避難するのはとても危険です

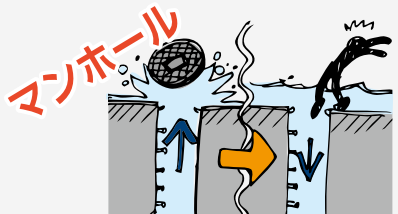
高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。



浸水が浅くても流れが速い場合は歩くのは危険です。



水が濁って、足元が見えにくくなります。もしフタが外れているとマンホールや排水溝などに転落して危険です。



数十センチの浸水でも水圧でドアが開かなくなります。



注意

その他の注意点

◎避難指示を聞いてからは原則歩いて避難

避難指示を聞いてから車で避難した場合、混雑による渋滞の発生が考えられます。

車での避難を考えている方は、高齢者等避難の発令といたより早い段階で避難を開始してください。



◎避難の準備は事前に

避難をしようと思ってから、避難の際に持って行くものを用意しては、逃げ遅れてしまうことも考えられます。避難の際に持って行くものを確認し、事前に用意しておきましょう。



※46ページで確認

注意

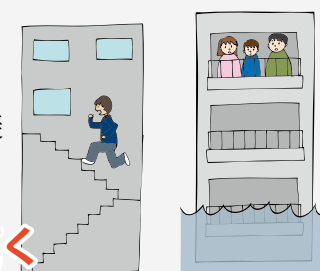
自宅にとどまるときには、身の安全の確保や備えが必要です

◎自宅の中の少しでも安全な場所に避難しましょう

洪水災害は

同じ建物でも上層階など、浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。

浸水よりも高く



土砂災害は

2階以上に上がり、斜面から離れた部屋など、少しでも安全な場所へ避難しましょう。

上層階で
斜面から離れた部屋



◎自宅にとどまる場合には準備と覚悟を

浸水や孤立した場合には、水道や電気、ガス、トイレ、エレベーターなどが使えなくなる可能性があります。

自宅にとどまる場合には、飲料水や食料などの準備と、不便を強いられることへの覚悟が必要です。

浸水や孤立の長期化でつぎのようなことも考えられます。

- ◎停電により情報の入手が困難になる
- ◎衛生環境が悪化する、病人が出た場合には対応が難しい
- ◎定期的な診療を受けている人は診療を受けられない
- ◎備蓄していても、水や食料がなくなる



※46ページで確認

避難を助ける情報

土砂災害や洪水災害などの危険性が高まった場合には、避難情報を発令します。避難情報を積極的に収集し、早めに避難しましょう。しかし、局地的な雨の場合には、避難情報が発令されない場合があります。避難情報が発令されていない場合でも、いつもと違うと感じたら避難しましょう。

避難情報以外の避難の助けになる情報は9～10ページで確認しましょう。

心得 4

早めの避難をためらわない

避難の判断が遅くなるほど、行動の選択肢は少なくなります。不安を感じたときや避難を迷ったときは、ためらわずにまず行動に移しましょう。

土砂災害は

● 周辺の雨、予兆現象にも注意

土砂災害は、避難情報を発令することが非常に難しい災害です。避難情報に加え、周辺の雨や予兆現象に注意する習慣をつけましょう。

9～10ページで確認しましょう

洪水災害は

● 気象情報、水位情報にも注意

洪水災害は、避難情報に加え、気象情報や、水位の情報に注意しましょう。

10ページで確認しましょう

例えば土砂災害では

警戒レベル 1
早期注意情報（気象庁）
とるべき行動
災害への心構えを高める

警戒レベル 2
大雨・洪水注意報（気象庁）
とるべき行動
自らの避難行動を確認

警戒レベル 3
高齢者等避難
とるべき行動
危険な場所から高齢者等は避難
高齢者等以外の人も、必要に応じて自主的に避難

警戒レベル 4
避難指示
とるべき行動
危険な場所から全員避難

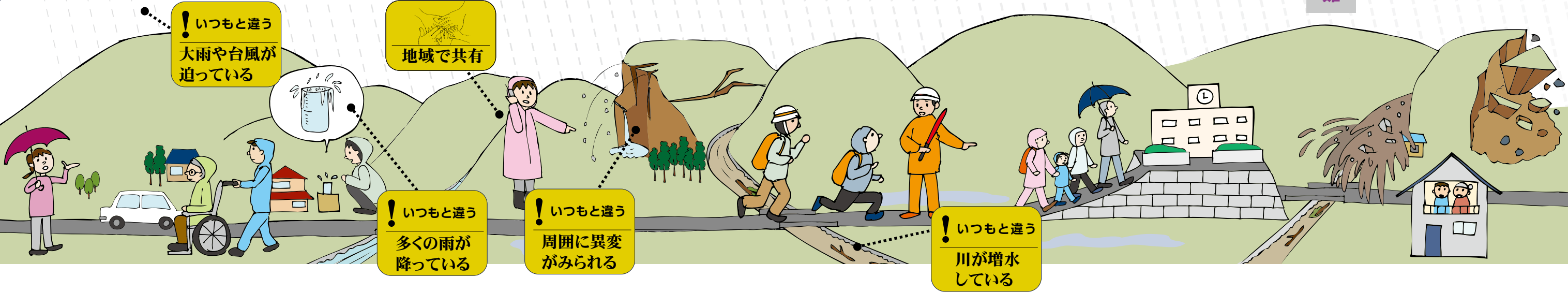
警戒レベル 5
緊急安全確保
とるべき行動
命の危険
直ちに安全確保！

警戒レベル 4 までに必ず避難

警戒レベル 5 は必ず発令されるものではありません。

既に災害が発生しているまたは、切迫しているとき

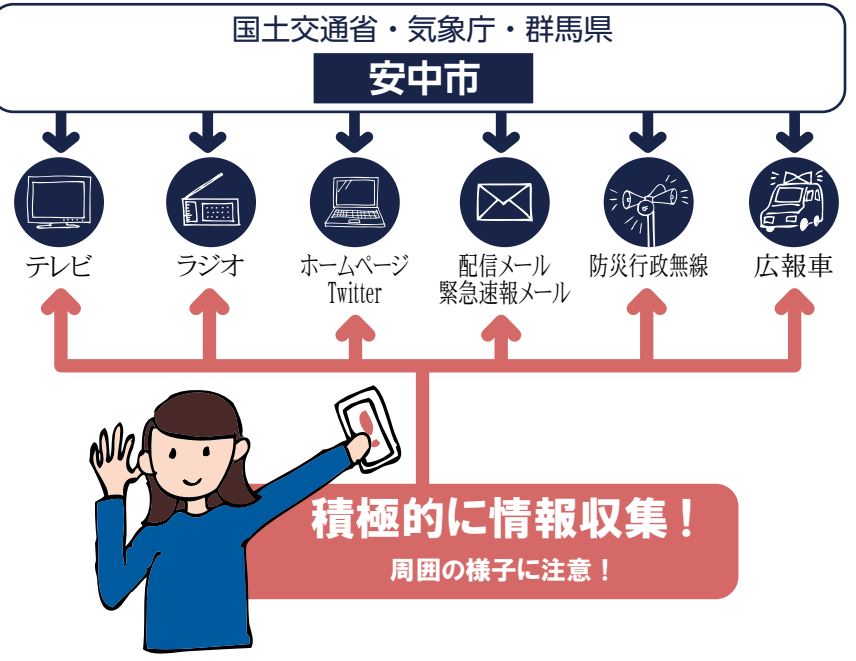
災害発生後



避難を助ける情報

避難を助ける情報

情報の伝わり方



災害発生の危険が高まったときや災害発生時には、様々な方法で情報が発信されます。大切な情報を入手できるよう、日ごろから確認しておきましょう。

安中市メール配信サービス（要登録）

防災・防犯・火災・気象・市政の地域情報をメールで受け取ることができるサービスです。「annaka@city.annaka.gunma.jp」からのメールが受信できるように設定の上、ご登録ください。

空メールによる登録
annaka@entry.mail-dpt.jp



安中市防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送を聞き逃した場合や聞き取りづかった場合などに、放送された直近の内容を電話にて確認できる自動応答システムです。

☎ 0800-800-3664（通話料無料）

緊急速報メール（登録不要）

「避難指示」などの避難情報ははじめとする緊急性の高い情報を安中市エリア内の対応端末（スマートフォン・携帯電話）に一斉配信します。

安中市ホームページ

防災・防犯情報のほか、各種市政情報を掲載しています。

URL <https://www.city.annaka.lg.jp/>



安中市公式 Twitter

市ホームページの最新情報や防災情報を中心に配信します。アカウントは「@Annaka_City」です。



高崎市等広域消防局火災情報テレホンサービス

消防車の出動に関する情報について、場所と出動内容別の概略を電話にて確認できる自動応答システムです。

☎ 050-5526-8612（通話料がかかります）

テレビで調べる（データ放送）

データ放送に対応しているテレビでは、**d** ボタンを押すことで、気象情報や河川の水位情報などを確認することができます。

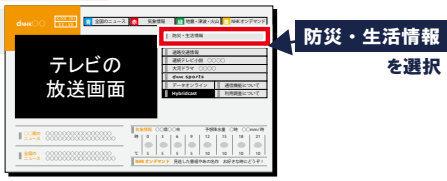
<テレビでの避難情報等の調べかた>

1 NHK 総合を選局し **d** ボタンを押す

2 防災・生活情報 を選択

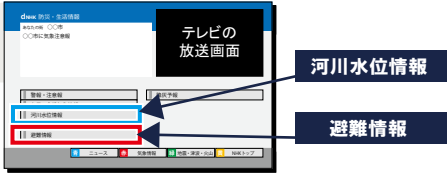
※データ放送に対応していないテレビでは確認できません

（画面イメージ図）



3 避難情報、河川水位情報など 知りたい情報を選択

（画面イメージ図）



ラジオで調べる

FM	NHK-FM	81.6MHz	FM ぐんま	86.3MHz
AM	NHK 第一	594kHz	道路情報	1620kHz

土砂災害・洪水災害の逃げどきの目安

避難情報以外の避難を助ける情報

！いつもと違う

周囲に異変がみられる

予兆現象

土砂災害が発生する前には、予兆現象が確認されることがあります。次のような現象を発見したら、ただちに避難を開始しましょう。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちること

がけに割れ目が見える

がけから水が湧き出ている

がけから小石がぱらぱら落ちてくる

土すべり

地下水などの影響により、地面が広い範囲にわたってゆっくりとすべり落ちること

地面にひび割れができる

斜面から水が噴き出す

沢や井戸の水が濁る

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されること

山鳴りがする

雨が降り続けているのに川の水位が下がる

急に川の流れが濁り、流木が混ざっている

土砂災害

このほかにも・・・

- 地鳴り、木の根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい(腐葉土、肥やしのにおい)がする
- 小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる

避難を助ける情報

地域で共有

地域の避難ルール

予兆現象のすべてをひとりで注意することは困難です。自主防災組織など地域で周囲の異変に注意し、情報を共有する方法を決めておきましょう。

◎地域で避難ルールを決めておく

1.どのタイミングで逃げるか

周囲の異変を確認する場所を地域で取りまとめる

2.情報の共有方法の確認

大雨が降り出し、周囲の異変をどのように地域で共有するのかを決める

3.実践的な訓練の実施

周囲の異変の確認や共有ルールに基づき訓練する

みんなで逃げよう！

土砂災害

！いつもと違う

多くの雨が降っている

周辺の雨

土砂災害の多くは、水(降雨、地下水)が関与しています。自宅で雨量を計測する習慣をつけましょう。

土砂災害の危険性が高まる目安

1 時間に 20mm 以上の雨・・・車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨

連続雨量で 100mm 以上の雨・・・弱い雨でも長時間降り続くと、土砂災害の危険性が高まる

◎誰でも簡単に雨量計測できる“カップ酒のビン”等を利用した簡易雨量計測の方法

〔降水量の計り方〕

- ①カップ酒のビン等の寸胴の容器にメモリをつける
- ②地面で跳ねた雨が入らない高さと平らな場所に容器を設置
- ③たまった水の深さを確認

【連続雨量で 100mm】に達した場合
降り始めから 10cm たまる

【時間雨量で 20mm】に達した場合
1 時間で 2cm たまる

土砂災害

！いつもと違う

川が増水している

水位情報

河川氾濫のおそれがある場合、水位情報が発表されます。

被害を及ぼすような氾濫が、今後起こる可能性が高いと判断される目安となる水位

高齢者等避難などの発令の目安となる水位

住民の氾濫に対する注意を喚起する水位

水防団(消防団)がいつでも出動できるように準備・待機する水位

	碓氷川 人見観測所	碓氷川 板鼻観測所	九十九川 花の木観測所	後閑川 中後閑観測所	柳瀬川 中宿観測所	増田川 国衙観測所	秋間川 自性寺観測所
氾濫危険水位	3.32						
避難判断水位	2.10						
氾濫注意水位	1.60	1.50	2.50	2.50	1.50	3.50	2.00
水防団待機水位	0.70	1.00	2.00	2.00	0.80	3.00	1.00

(m)

調べる

国土交通省川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

川の水位や洪水予報、レーダ雨量、河川カメラ画像など

国土交通省川の水位情報

<https://k.river.go.jp/>

危機管理型水位計・河川監視カメラ映像など

群馬県水位雨量情報システム

<https://www.river-gunma.jp/gunma/>

河川の水位観測データ・雨量観測データなど

群馬県防災トップページ

<https://www.pref.gunma.jp/05/a5510001.html>

気象情報、河川情報のリンク一覧

洪水災害

洪水・土砂災害

！いつもと違う

大雨や台風が迫っている

気象情報

注意報・警報・特別警報

大雨により災害が発生するおそれがある場合、警報や注意報などの防災気象情報が発表されます。

雨が強くなると

大雨が降り続くと

さらに激しい大雨が続くと

注意報

大雨注意報、洪水注意報など

災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表されます。

警戒レベル2

警報

大雨警報、洪水警報など

重大な災害が起こるおそれがあるときに発表されます。

警戒レベル3相当

非常事態

大雨特別警報など

重大な災害が起こる可能性が非常に高まっている場合に発表されます。

警戒レベル5相当

この段階での対応には限りがあります

土砂災害警戒情報

警戒レベル4相当

地域の雨量などを考慮して、土砂災害発生危険性が高まった地域に対して発表されます。

台風情報

台風は暴風や大雨等をもたらします。勢力が強く、大きい台風が迫っている場合には注意が必要です。

強さ		大きさ	
階級	最大風速	階級	風速 15m/秒以上の半径
強い	33m/秒～44m/秒	大型	500km～800km未満
非常に強い	44m/秒～54m/秒	超大型	800km以上
猛烈な	54m/秒～		

調べる

気象庁

<https://www.jma.go.jp/>

気象の注意報・警報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報など

前橋地方気象台

<http://www.jma-net.go.jp/maebashi/>

気象の注意報・警報のほか、洪水予報や土砂災害警戒情報など

気象庁「あなたの街の防災情報」

<https://www.jma.go.jp/bosai/>

市町村別の防災情報、気象の注意報・警報の発表状況、今後の推移や雨雲の動き、天気予報など

群馬県土砂災害警戒情報提供システム

https://www.dosya-gunma.jp/web_pub/

群馬県内の土砂災害警戒情報発表状況や、1kmメッシュでの土砂災害危険度判定など

土砂災害

洪水災害

避難を助ける情報

逃げどきマップの使いかた **洪水** **土砂災害**

13～34ページの逃げどきマップで、洪水・土砂災害時で想定される状況を確認し、自宅の状況等から必要な避難行動を確認しましょう。

- 1 お住まいの地区のマップを開く。**
右の「地区ごとの掲載ページ」を参考に、お住まいの地区のページをご覧ください。

- 2 マップで自宅を探し、色や模様を確認しましょう。**
想定される浸水の深さや土砂災害の危険性の有無などが色や模様で表示されています。自宅を探し、色と模様を確認しましょう。

避難行動判定フロー

STEP 1		洪水時・土砂災害時の自宅判定	
危険な 区域	家屋倒壊等 氾濫想定区域	→	滞在不可 洪水時に家屋が 倒壊するおそれがあります
	土砂災害特別警戒区域	→	滞在不可 土砂災害で家屋が壊れたり 命の危険があるかもしれません
	土砂災害警戒区域	→	
STEP 2			
浸水の 深さ	5m 以上	→	滞在不可 4階床上までの浸水に なるおそれがあります
	3m ～ 5m	→ 3階以上にお住まいの方 →	滞在可 要備え 2階床上までの浸水に なるおそれがあります
		→ 1～2階にお住まいの方 →	滞在不可
	0.5m ～ 3m	→ 2階以上にお住まいの方 →	滞在可 要備え 1階床上までの浸水に なるおそれがあります
		→ 1階にお住まいの方 →	滞在不可
	～ 0.5m	→	滞在可 要備え 床上以上の浸水は想定されていませ んが、内水氾濫※や対象河川以外の 浸水があるかもしれません ※河川氾濫ではなく、排水しきれない大雨による浸水 災害は想定されていませんが、必ずしも安全 というわけではありませんので、周囲の状況 に注意し、必要に応じて避難してください
上記以外の区域		→	滞在可 要備え

- 3 自宅の判定結果から、必要な避難を確認しましょう。**

判定結果が	判定結果が
滞在不可 自宅にとどまることはできません。	滞在可 要備え 自宅での避難（在宅避難・垂直避難）が可能です。
命を守るために 必ず自宅外への早めの避難が必要です ◎ 高齢者等の避難に時間のかかる方は警戒レベル3（高齢者等避難）の発令で、 その他の方は警戒レベル4（避難指示）の発令までに必ず避難しましょう。 ◎ 警戒レベル5（緊急安全確保）発令時や、屋外の移動に危険を感じたら、最寄 りの高い建物等へ駆け込む等、少しでも安全な場所へ緊急的に避難しましょう。	無理に外に出ない 外の状況や避難情報の段階によっては、自宅に留まるほうが安全です。 ◎ 水、電気、ガス、トイレ等が使えなくなることもあります。 自宅に留まる場合には十分な準備をしておきましょう。 ◎ 自宅に留まることが心配な方は避難を検討しましょう。

- 4 「早い段階での避難先」と「逃げ遅れたときの避難先」を考え、裏表紙に記入しましょう。**

早い段階での避難先

- 例えば**
◎ 親戚や友人宅、ホテルや旅館など、市内に限らずより
安全な場所
◎ 歩いていける最寄りの指定避難所・指定緊急避難場所

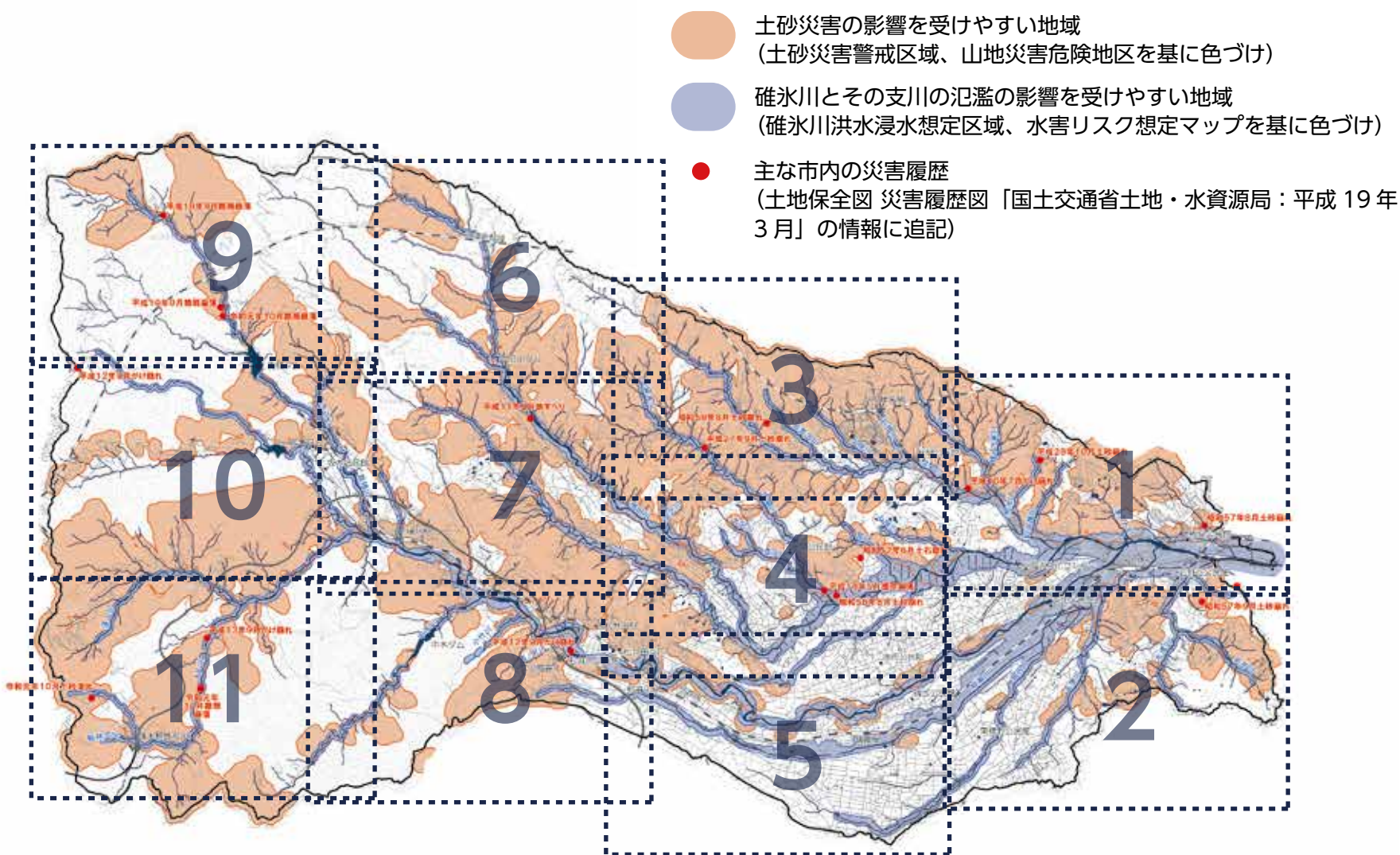
指定避難所：災害で被災し、自宅で生活できない人が一定期間生活するための施設

指定緊急避難場所：災害による危険が迫っている状況で、指定避難所まで避難することに危険を伴う場合などに、緊急的・一時的に身の安全を守るための場所

指定福祉避難所：高齢者や、障害者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための施設

逃げ遅れたときの避難先

- 例えば**
◎ 最寄りの高く丈夫な建物や高台
◎ 自宅の高いところ、斜面から離れた部屋
◎ 指定避難所、指定緊急避難場所に限らず、駆け込
めるところ



地区ごとの掲載ページ

マップ 1 → 13～14ページ 安中・岩野谷・板鼻・秋間	マップ 5 → 21～22ページ 原市・磯部・東横野・松井田・ 西横野・九十九	マップ 9 → 29～30ページ 白井・坂本・細野
マップ 2 → 15～16ページ 安中・原市・磯部・東横野・ 岩野谷	マップ 6 → 23～24ページ 秋間・後閑・白井・細野	マップ 10 → 31～32ページ 白井・坂本
マップ 3 → 17～18ページ 秋間・後閑・細野	マップ 7 → 25～26ページ 後閑・白井・坂本・九十九・ 細野	マップ 11 → 33～34ページ 白井・坂本
マップ 4 → 19～20ページ 安中・原市・磯部・秋間・後閑・ 松井田・九十九・細野	マップ 8 → 27～28ページ 松井田・白井・西横野・ 九十九・細野	

- 5 避難先への経路や移動時間等をイメージし、対応行動を裏表紙のマイ・タイムラインにメモしましょう。**

「早い段階での避難先」と「逃げ遅れたときの避難先」への行き方を確認し、避難の際に危険な箇所を避けた避難経路を考えておきましょう。

車やペット、家族内の避難に支援が必要な人の有無によって避難の準備や避難にかかる時間が異なります。災害時をイメージし、対応行動とタイミングを考えておきましょう。

土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

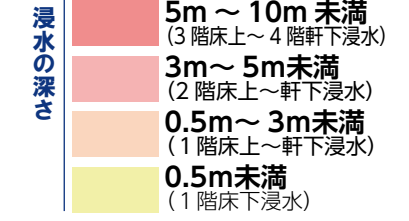
1:15,000

0 250 500 1,000m

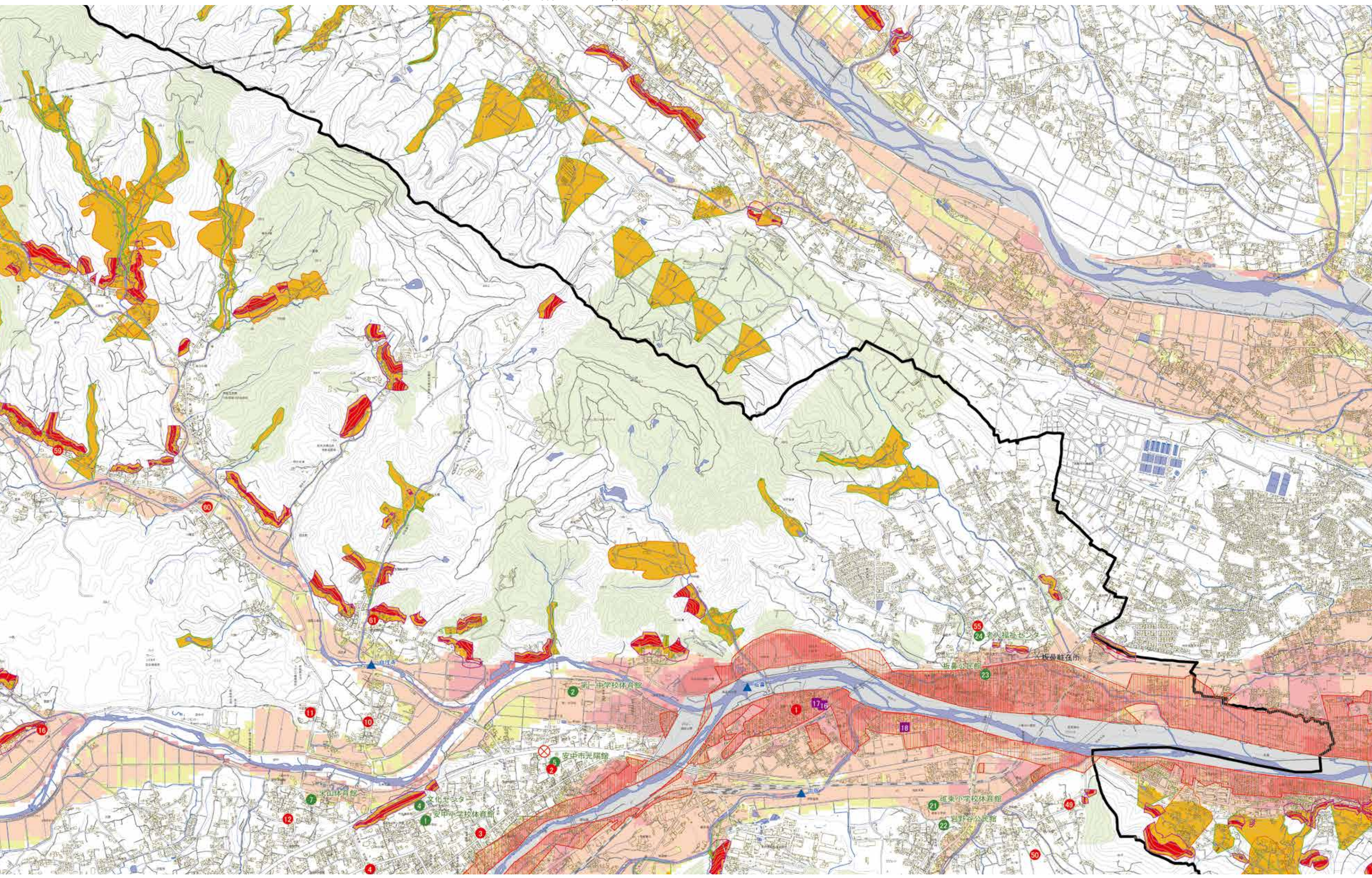
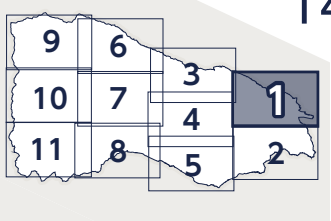
N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域
おスドライブ 家屋倒壊等
氾濫想定区域
碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食
により、家屋が倒壊・流失する等の
危険性が高い区域



土砂災害



土砂災害、洪水災害時の避難について、

早い段階での避難先と、逃げ遅れてしまったときの避難先を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。

11ページの避難行動判定フローで必要な避難行動を確認しましょう

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

02505001,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おたドライブ

家屋倒壊等氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

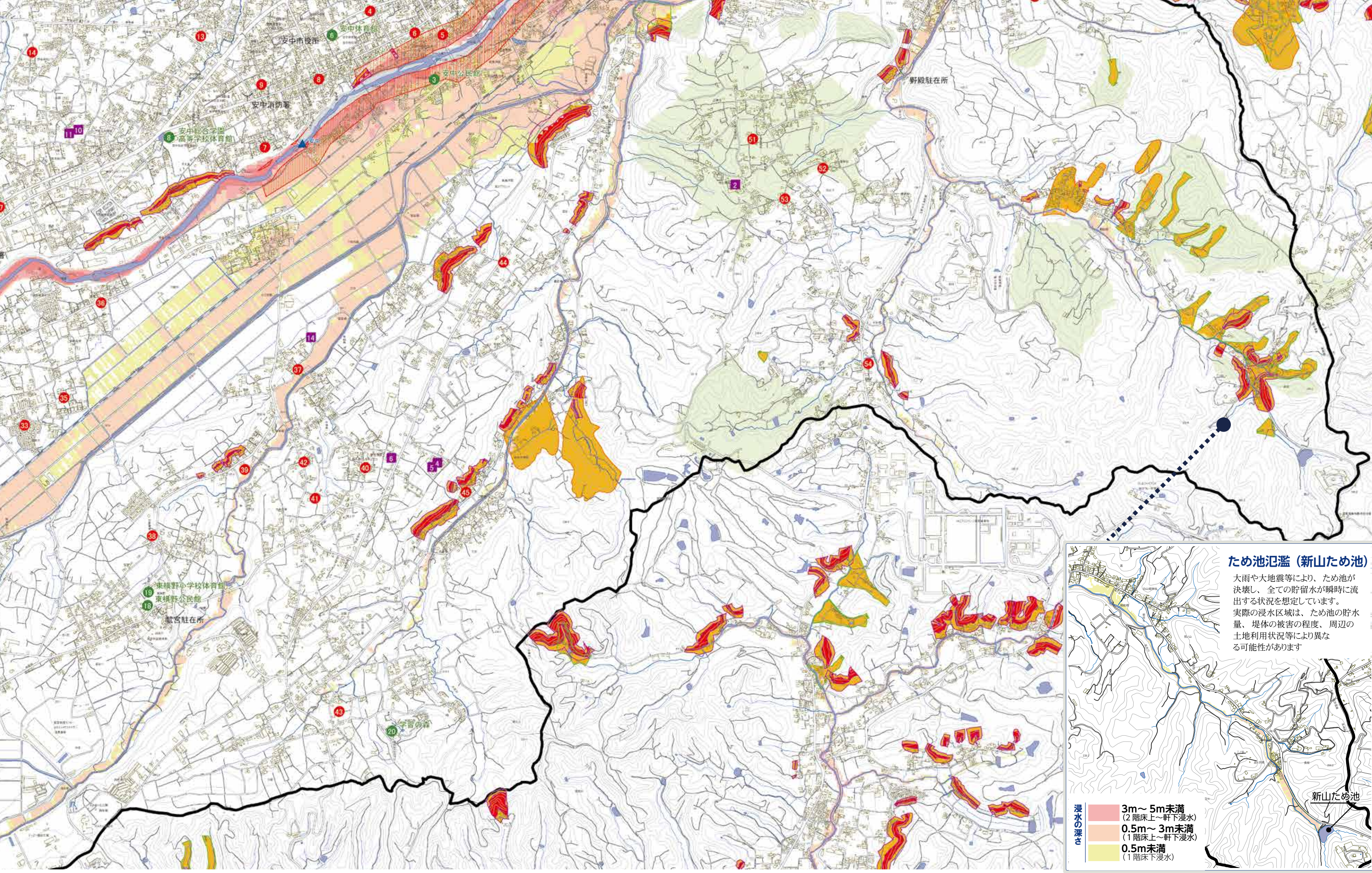
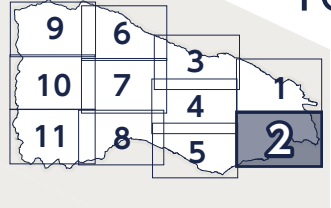
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



ため池氾濫 (新山ため池)

大雨や大地震等により、ため池が決壊し、全ての貯留水が瞬時に流出する状況を想定しています。実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により異なる可能性があります

浸水の深さ

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

新山ため池

土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おスドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

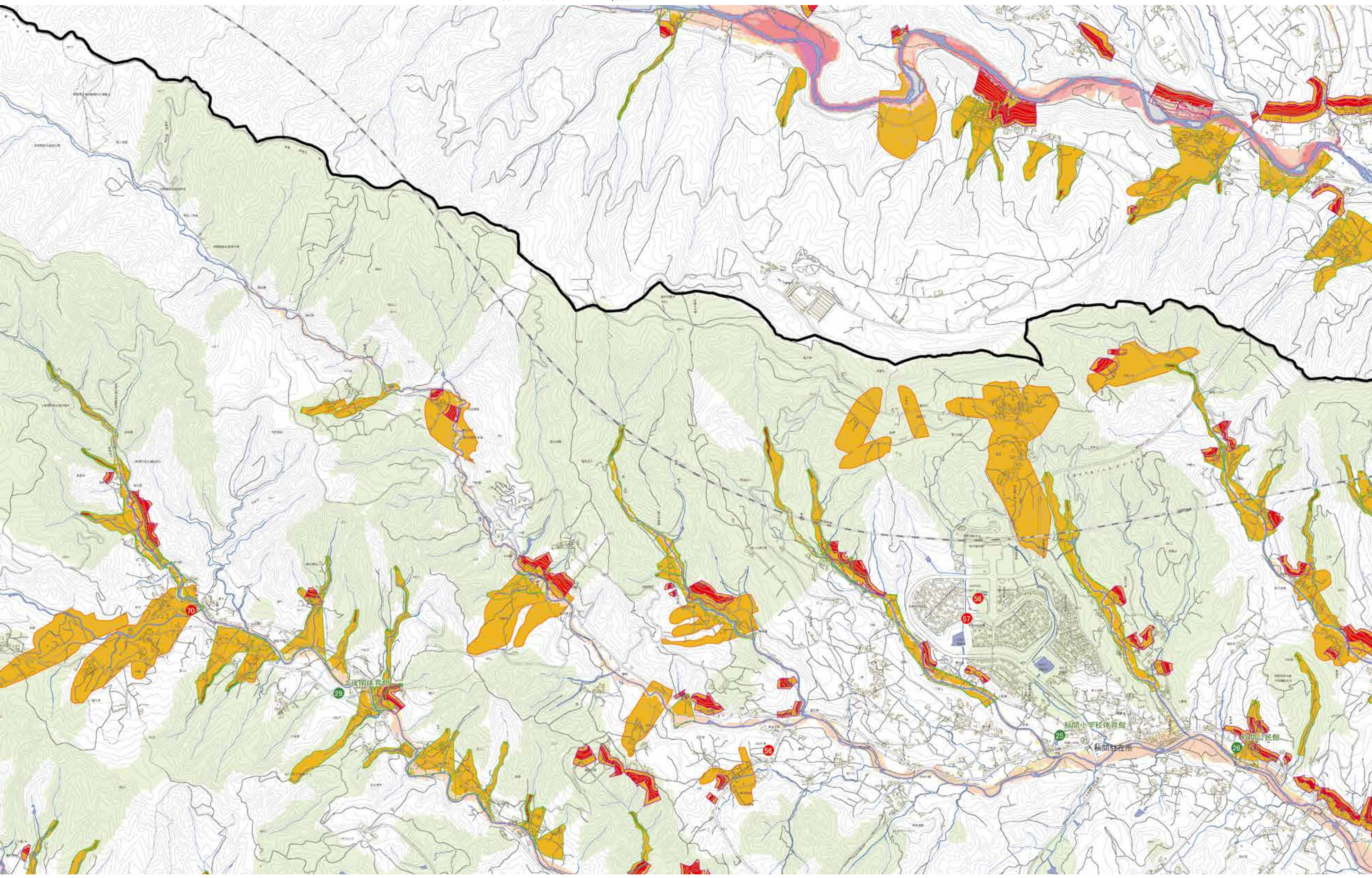
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

02505001,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食
により、家屋が倒壊・流失する等の
危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

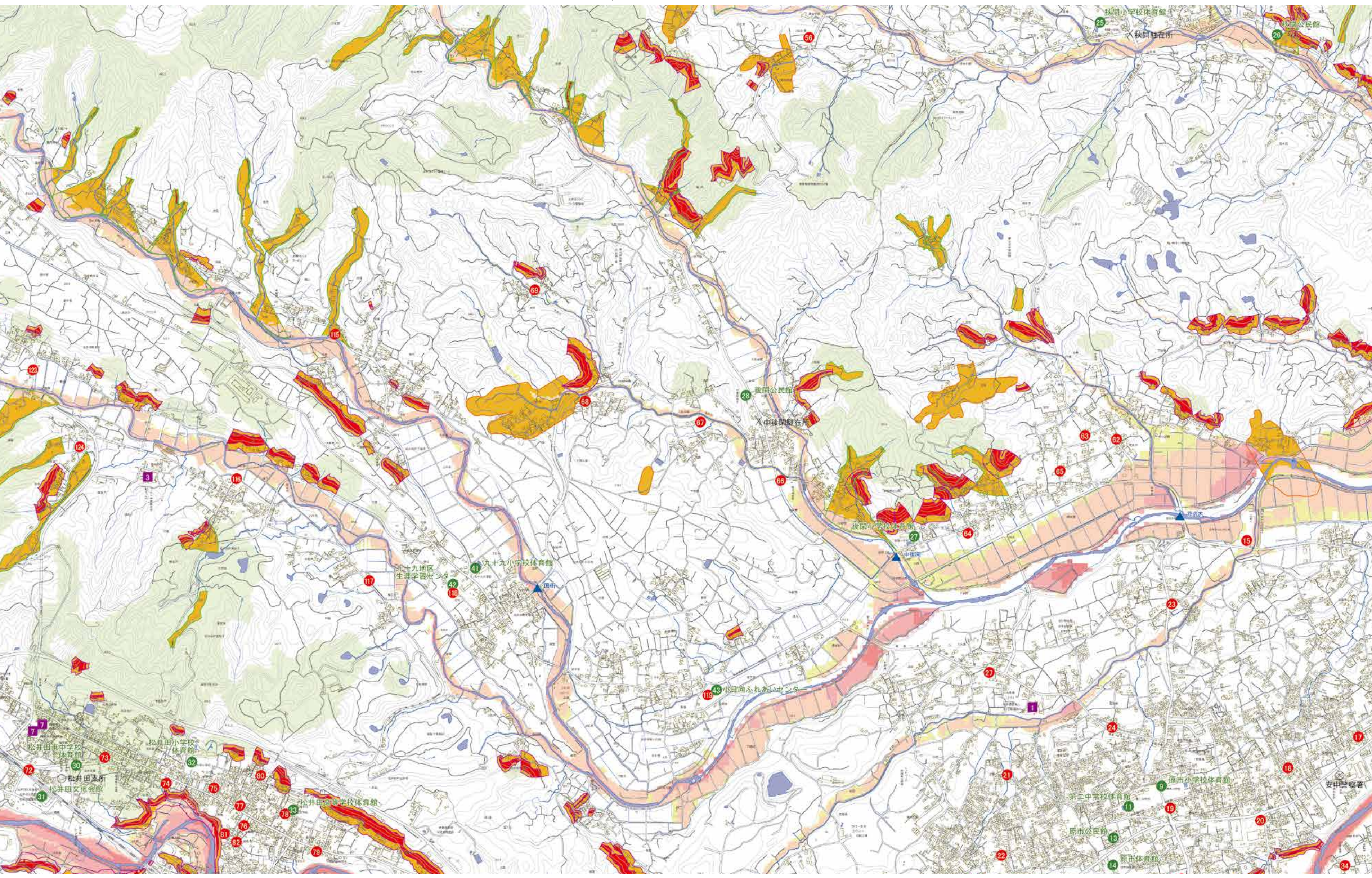
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おドライブ 家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食
により、家屋が倒壊・流失する等の
危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

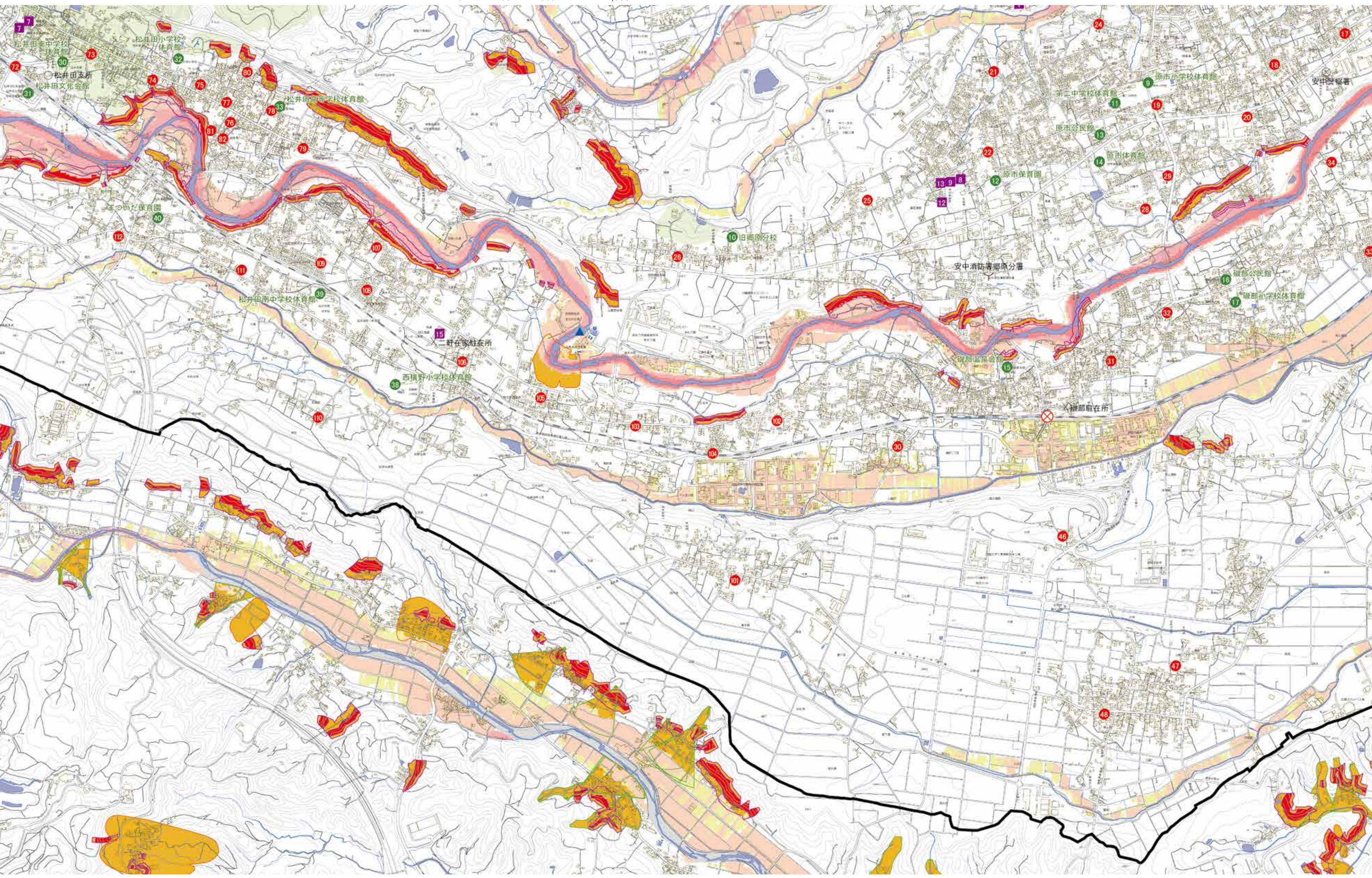
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきま しょう。
**11 ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おたドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食
により、家屋が倒壊・流失する等の
危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m 未満
(3 階床上～4 階軒下浸水)

3m～5m 未満
(2 階床上～軒下浸水)

0.5m～3m 未満
(1 階床上～軒下浸水)

0.5m 未満
(1 階床下浸水)

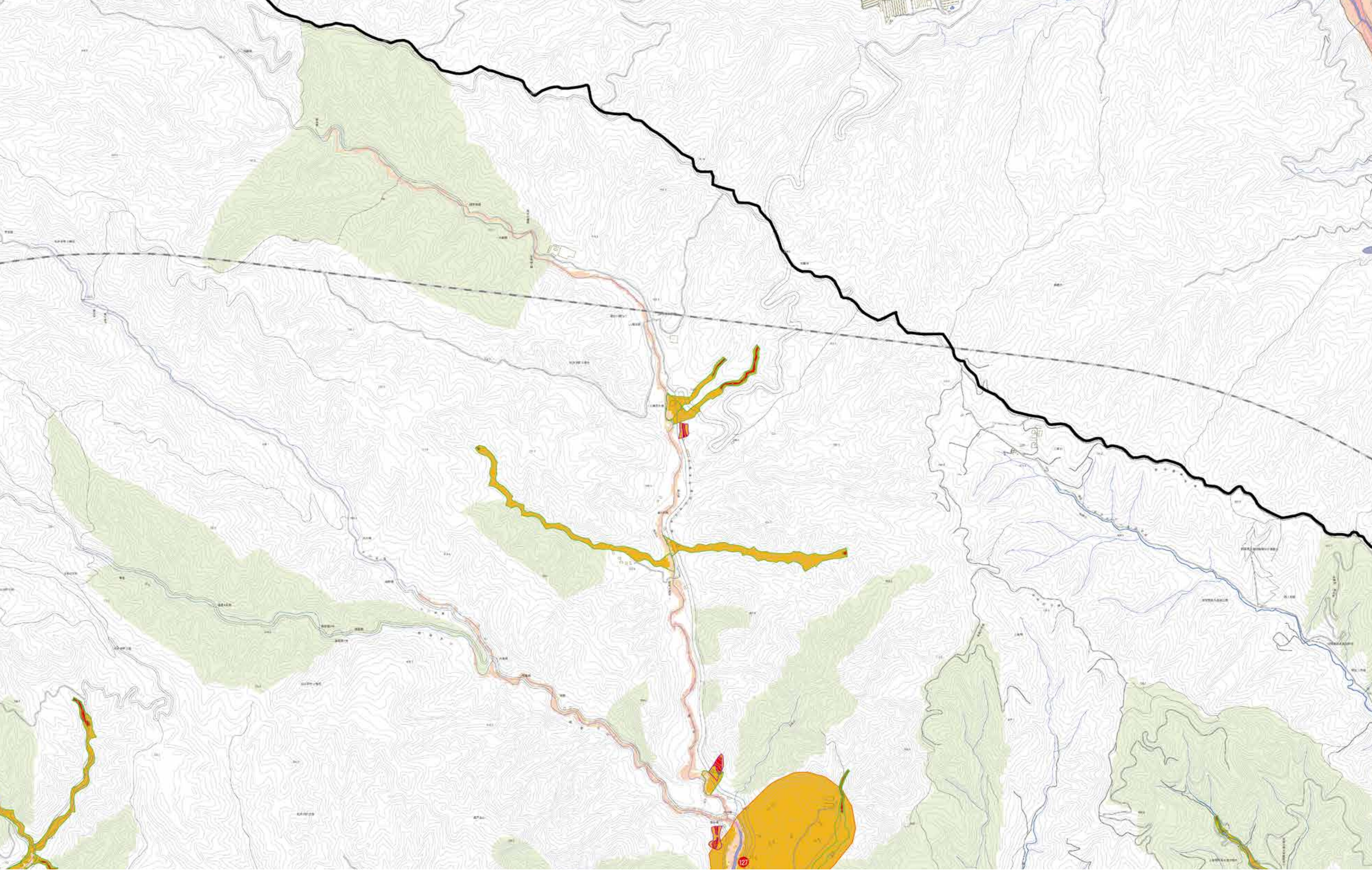
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきま しょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m 未満
(3 階床上～4 階軒下浸水)

3m～5m 未満
(2 階床上～軒下浸水)

0.5m～3m 未満
(1 階床上～軒下浸水)

0.5m 未満
(1 階床下浸水)

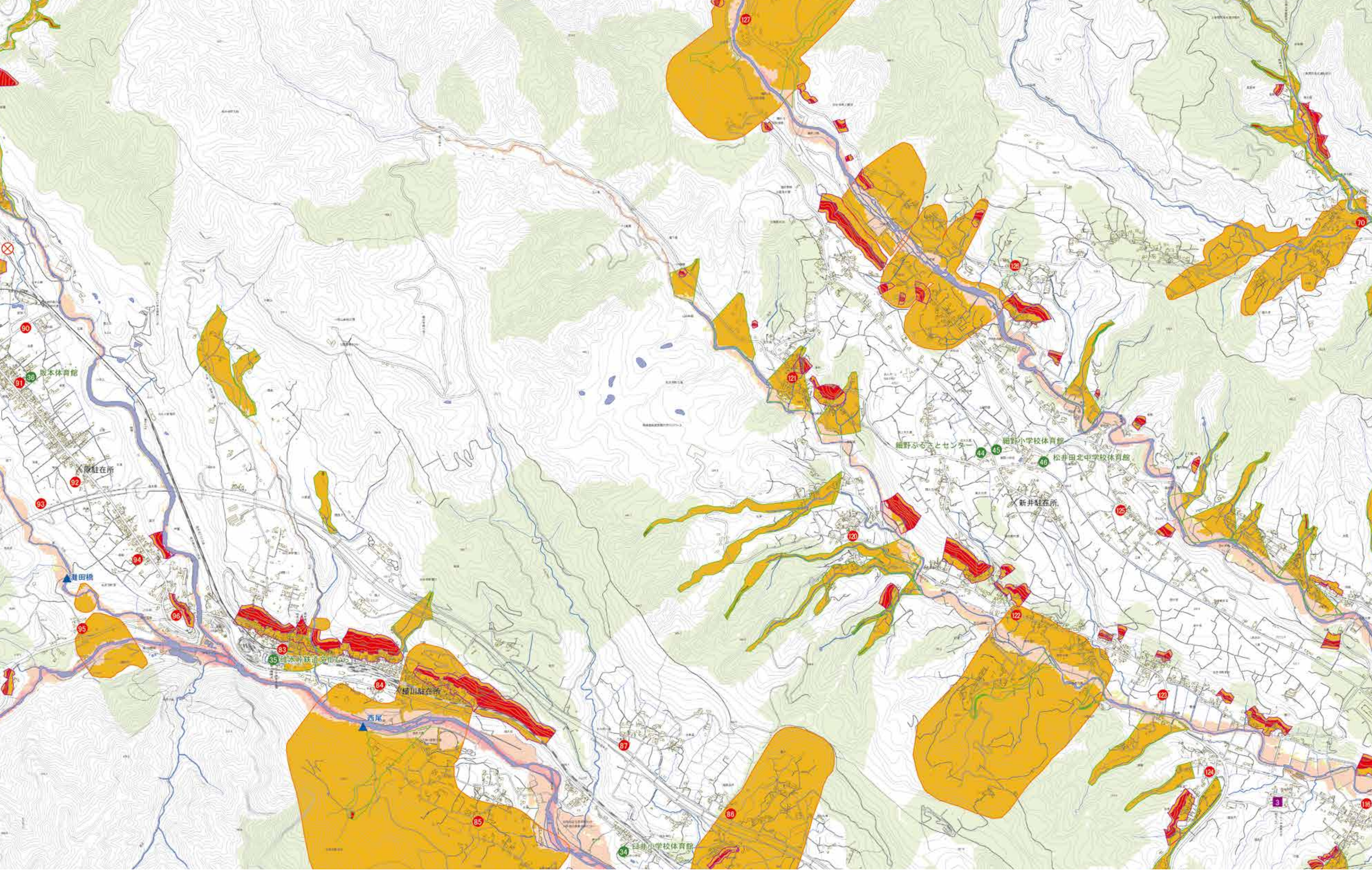
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おスドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

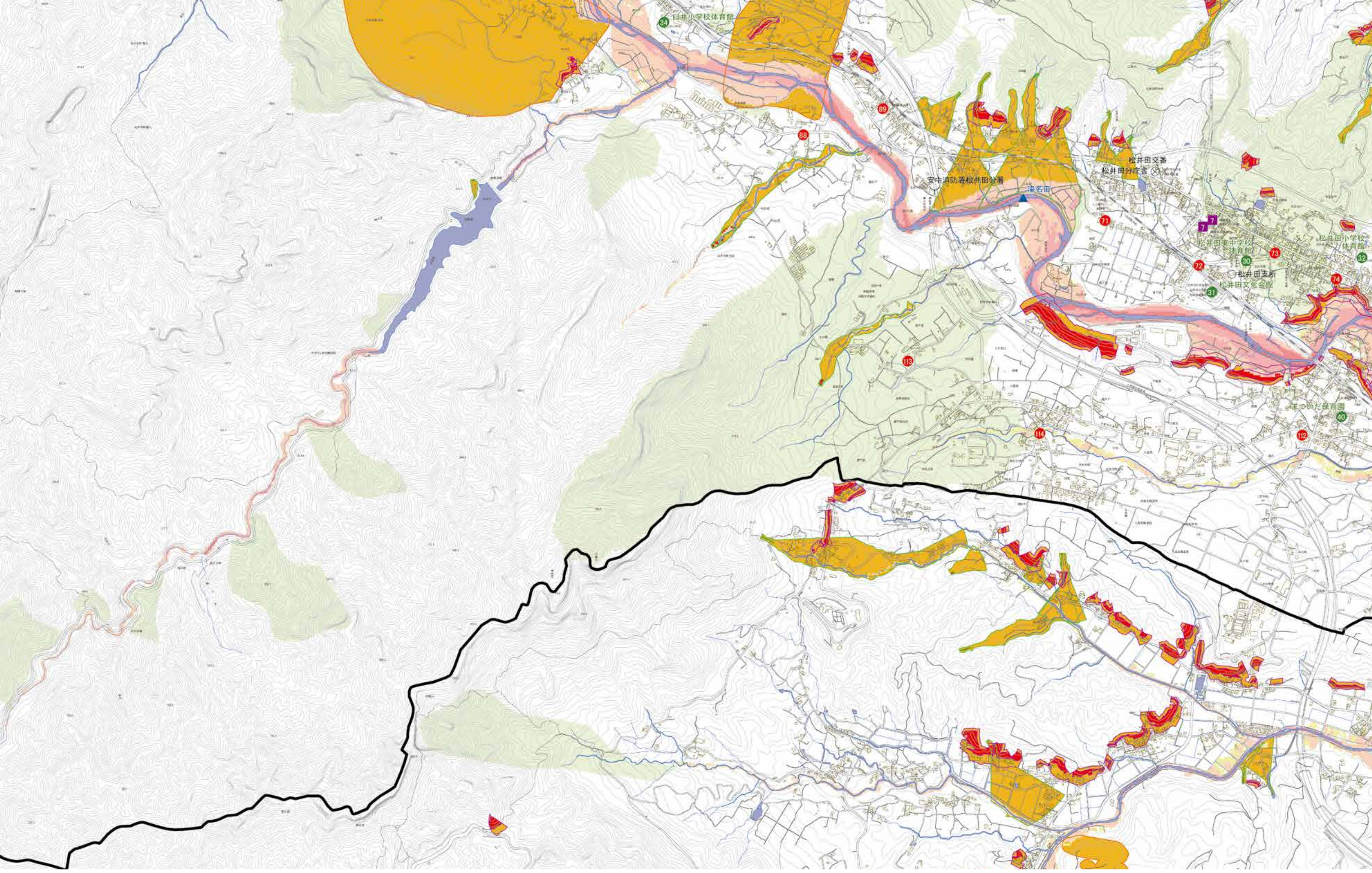
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきましょう。
**11ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おたドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m未満
(3階床上～4階軒下浸水)

3m～5m未満
(2階床上～軒下浸水)

0.5m～3m未満
(1階床上～軒下浸水)

0.5m未満
(1階床下浸水)

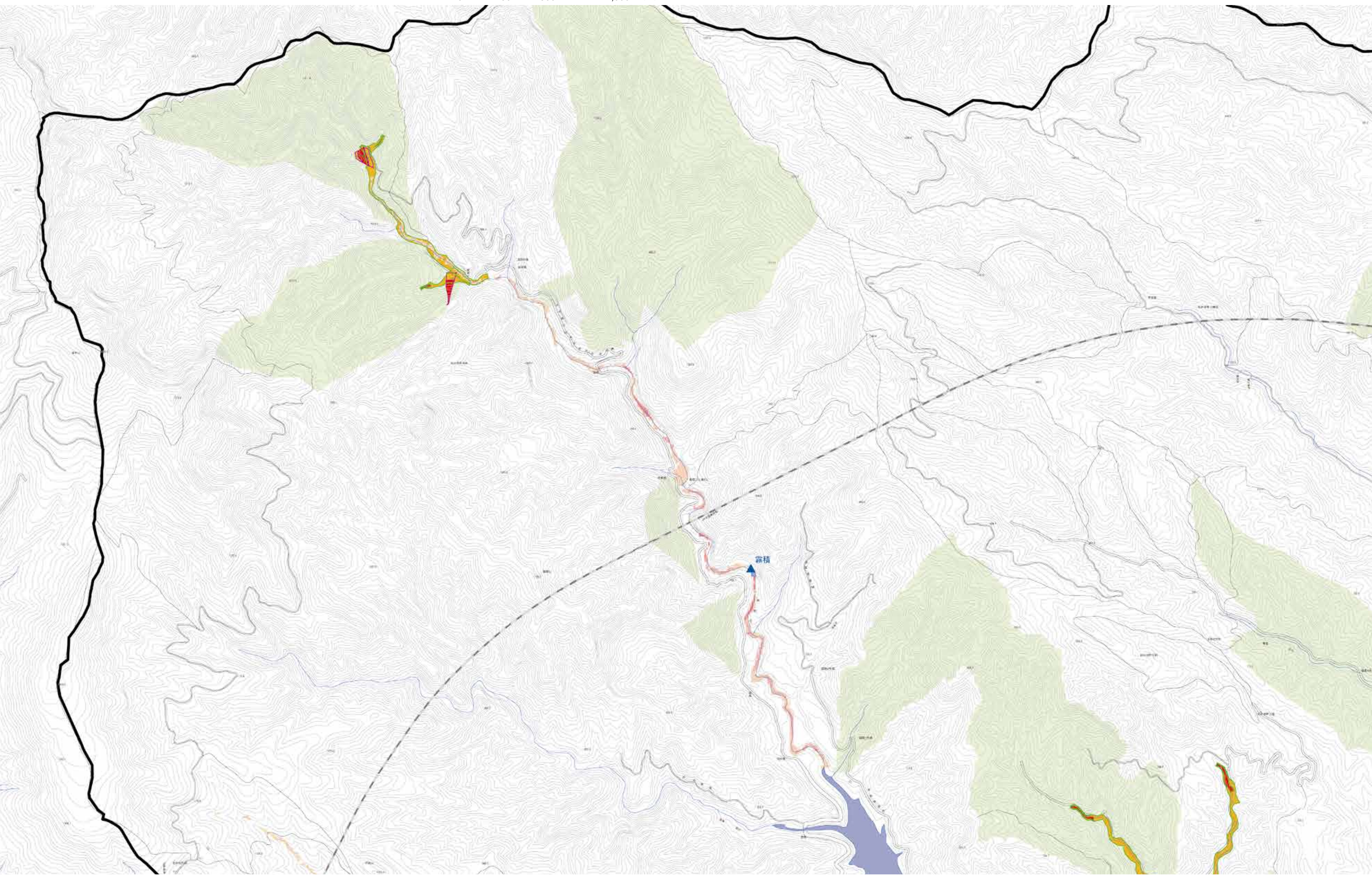
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきま しょう。
**11 ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おたドライブ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食
により、家屋が倒壊・流失する等の
危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m 未満
(3 階床上～4 階軒下浸水)

3m～5m 未満
(2 階床上～軒下浸水)

0.5m～3m 未満
(1 階床上～軒下浸水)

0.5m 未満
(1 階床下浸水)

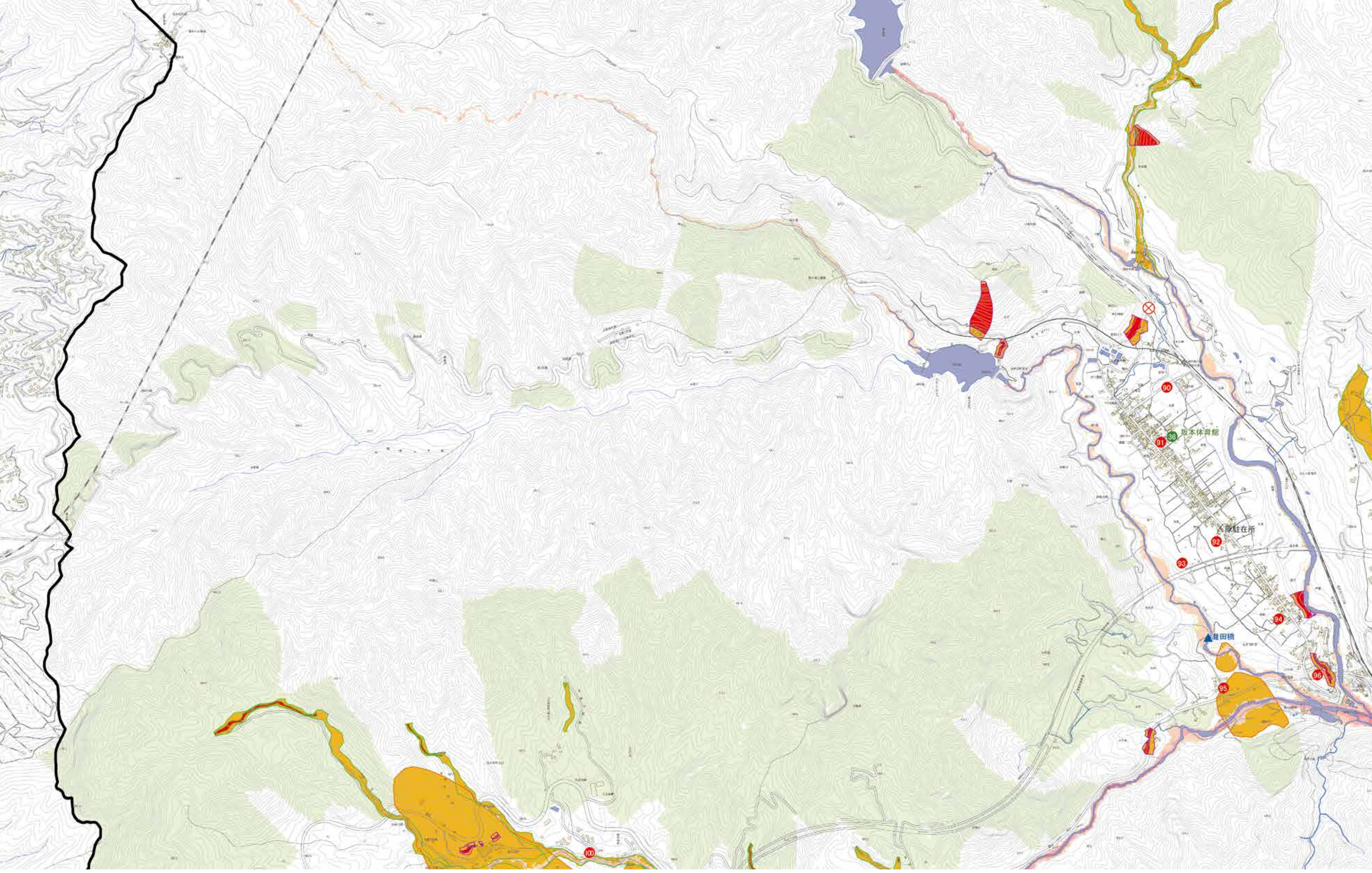
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



土砂災害、洪水災害時の避難について、
早い段階での避難先と、**逃げ遅れてしまったときの避難先**
を確認し、裏表紙へ記入しておきま しょう。
**11 ページの避難行動判定フローで
必要な避難行動を確認しましょう**

● 指定避難所

● 指定緊急避難場所

■ 指定福祉避難所

▲ 水位観測所

⊗ アンダーパス

避難施設一覧は35～36ページ

1:15,000

0 250 500 1,000m

N

碓氷川・支川氾濫

危険な区域

おストライフ

家屋倒壊等
氾濫想定区域

碓氷川の氾濫に伴う氾濫流や河岸浸食により、家屋が倒壊・流失する等の危険性が高い区域

浸水の深さ

5m～10m 未満
(3 階床上～4 階軒下浸水)

3m～5m 未満
(2 階床上～軒下浸水)

0.5m～3m 未満
(1 階床上～軒下浸水)

0.5m 未満
(1 階床下浸水)

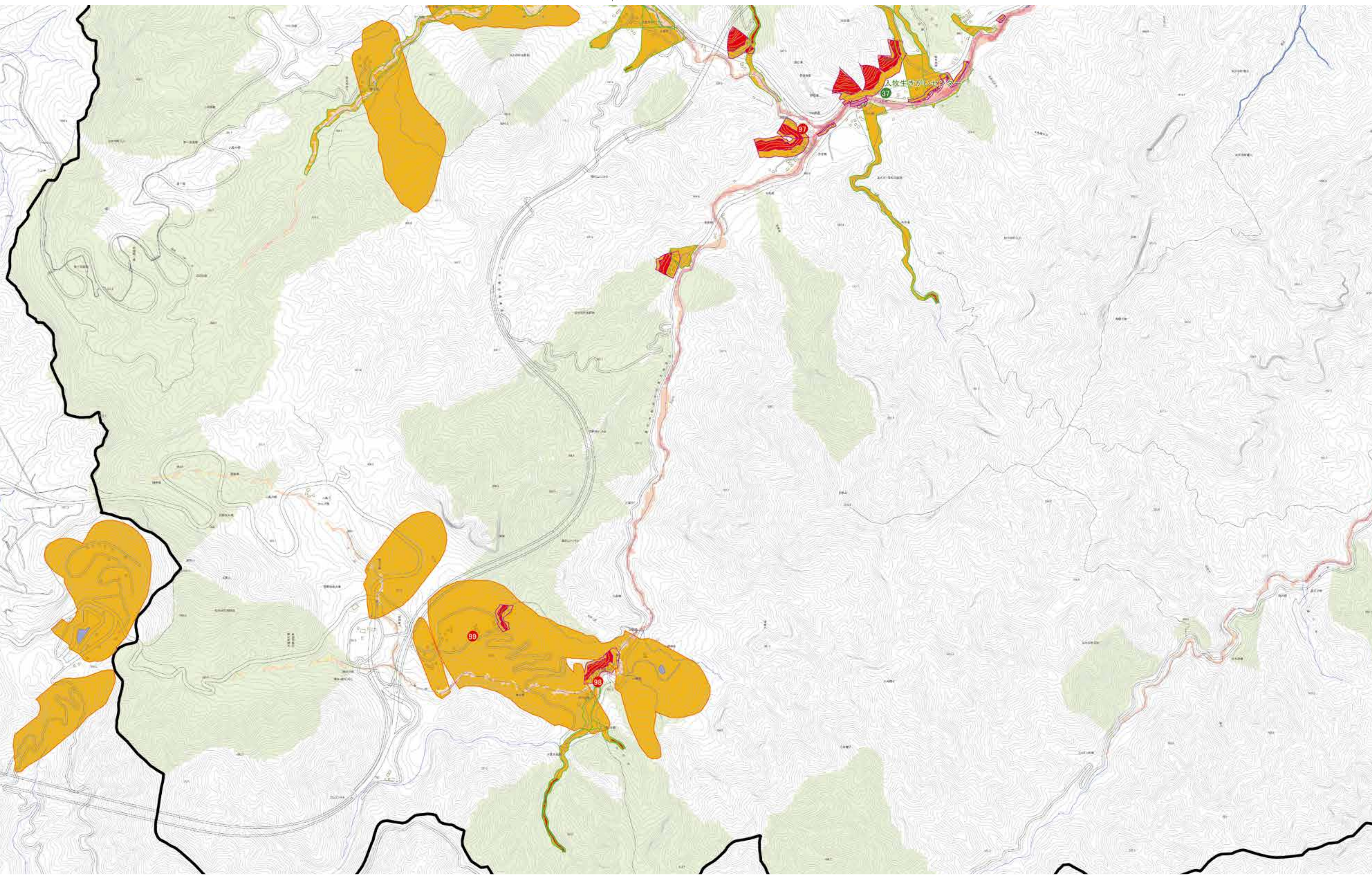
土砂災害

警戒区域

特別警戒区域

山地災害危険地区

がけ崩れ 地すべり 土石流



指定避難所等の一覧

指定避難所 災害で被災し、自宅で生活できない人が一定期間生活するための施設					
名称	所在地	電話番号	名称	所在地	電話番号
1 安中小学校体育館	安中 3-10-43	381-0215	24 いきいき長寿センター（老人福祉センター）	板鼻 2086-1	382-2929
2 第一中学校体育館	安中 5-8-1	381-0459	25 秋間小学校体育館	東上秋間 1831	381-0494
3 安中公民館	安中 3799	382-7641	26 秋間公民館	中秋間 1801-1	382-4969
4 文化センター	安中 3-9-63	381-0586	27 後閑小学校体育館	下後閑 1999-1	385-8178
5 安中市光陽館	安中 4-8-32	382-5898	28 後閑公民館	中後閑 1441-5	385-4835
6 安中体育館	安中 2-13-7	382-5299	29 上後閑体育館	上後閑 1542-4	385-3388
7 米山体育館	安中 1717-1	381-1990	30 松井田東中学校体育館	松井田町新堀 236-16	393-1122
8 安中総合学園高等学校体育館	安中 1-2-8	381-0227	31 松井田文化会館	松井田町新堀 530	393-4400
9 原市小学校体育館	原市 1-10-23	385-8258	32 松井田小学校体育館	松井田町松井田 953	393-1521
10 旧郷原分校	郷原 2374-1	385-8210	33 松井田高等学校体育館	松井田町松井田 803-1	393-1525
11 第二中学校体育館	原市 2245-2	385-7857	34 白井小学校体育館	松井田町五科 2196	395-2050
12 原市保育園	築瀬 25-1	385-5233	35 碓氷峠鉄道文化むら	松井田町横川 407-16	380-4163
13 原市公民館	原市 1441-16	385-4832	36 坂本体育館	松井田町坂本 1323	－
14 原市体育館	原市 1362-2	385-4083	37 入牧生きがいセンター	松井田町入山 321-1	－
15 磯部温泉会館	磯部 1-12-21	－	38 西横野小学校体育館	松井田町二軒在家 887	393-1127
16 磯部公民館	磯部 4-13-23	385-4834	39 松井田南中学校体育館	松井田町八城甲 481	393-1320
17 磯部小学校体育館	磯部 4-12-8	385-5965	40 まついだ保育園	松井田町八城 194-1	393-3892
18 東横野公民館	鷺宮 3145	382-4974	41 九十九小学校体育館	松井田町下増田 446	393-1123
19 東横野小学校体育館	鷺宮 3139-2	382-5773	42 九十九地区生涯学習センター	松井田町国衛 115-1	393-4236
20 学習の森	上間仁田 951	382-7622	43 小日向ふれあいセンター	松井田町小日向 777	－
21 碓東小学校体育館	岩井 62	382-4325	44 細野ふるさとセンター	松井田町土塩 533-1	393-1311
22 岩野谷公民館	岩井甲 617	382-4968	45 細野小学校体育館	松井田町新井 365	393-1322
23 板鼻公民館	板鼻 1-6-20	382-4967	46 松井田北中学校体育館	松井田町上増田 3602-1	393-1520
の着色のある避難所は洪水により浸水のおそれがあります。避難所として開設できない場合には、その他の施設へ避難してください。					

指定緊急避難場所 災害による危険が迫っている状況で、指定避難所まで避難することに危険を伴う場合などに、緊急的・一時的に身の安全を守るための場所

安中地区	名称	所在地	名称	所在地
	1 中宿公民館	中宿 1-8-6	9 上野尻第二公会堂	安中 1-13-24
	2 下野尻公会堂（正龍寺境内）	安中 4-9-3	10 小間公民館	安中 1085-1
	3 伝馬町公民館	安中 3-20-16	11 藤山団地南側公園	安中 1350
	4 うんどう遊園	安中 2-14 地内	12 米山公民館	安中 1780
	5 谷津児童公園	安中 3-15-1	13 高別当公会堂	高別当 371-2
	6 谷津公会堂	安中 3-13-1	14 古屋公会堂	古屋 494-3
原市地区	7 新邸公会堂	安中 1-5 地内	15 安中市ふるや広場	古屋 920
	8 上野尻第一公会堂	安中 2-5-9	16 小俣公会堂（蒺藜農村公園）	小俣 949-2
	名称	所在地	名称	所在地
	17 原市第 1 区住民センター	原市 4-3-13	24 5 区集会所（宮内集会所）	原市 2143-10
	18 第 2 区集会所（原市第 2 区住民センター）	原市 3-2-30	25 原市 6 区集会所	郷原 2910-4
	19 原市第 3 区甲集会所(原市第 3 区甲住民センター)	原市 2-2-1111	26 郷原公会堂原市第 7 区公会堂	郷原 1270-1
	20 末広町住民センター(原市第 3 乙区住民センター)	原市 2-10-14	27 嶺公会堂	嶺甲 506
磯部地区	21 原市第 4 区住民センター	原市 1846-1	28 原市第 9 区住民センター(築瀬公会堂)	築瀬 743
	22 第四区八本木公会堂	原市 1660-1	29 築瀬二子塚古墳公園	築瀬 756-1
	23 杉名公民館	原市 3912-1	名称	所在地
	30 上磯部公会堂	磯部 2-4-16	34 磯部宮本自治会公民館（磯部神社社務所）	下磯部 140-2
	31 磯部第 2 区金井自治会公会堂	磯部 3-10-30	35 新井公会堂（第 8 区公会堂）	東上磯部 1964-2
	32 磯部児童公園	磯部 3-18-15	36 馬場公会堂	下磯部 547-1
	33 金谷戸公会堂	東上磯部 1841-38	37 大竹住民センター	大竹 463-2
東横野地区	名称	所在地	名称	所在地
	38 宮本住民センター（咲前神社）	鷺宮 3308	44 第 17 区後小峰公会堂	下間仁田 169-2
	39 金平居公会堂	鷺宮 1199	45 上耕地公会堂	下間仁田 850-1
	40 上平公会堂	鷺宮 375-6	46 共立集会所	中野谷 439-2
	41 松栄児童遊園地	鷺宮 606	47 中屋敷公会堂	中野谷 2138-3
	42 松栄集会所	鷺宮 642-6	48 上宿公会堂	中野谷 2363
	43 白山公園及び研修センター（鰻橋転作研修施設）	上間仁田 371-1	名称	所在地
岩野谷地区	名称	所在地	名称	所在地
	49 東岩井公会堂	岩井 434	52 東野殿公会堂	野殿 1923
	50 中岩井公会堂	岩井 1596-3	53 中野殿公会堂	野殿 1871-4
	51 北野殿公会堂	野殿 956	54 第 6 区水境公会堂	野殿 3179-3

指定福祉避難所 高齢者や、障害者その他の特別な配慮を必要とする要配慮者を受け入れるための施設

	名称	所在地	名称	所在地	
	1 特別養護老人ホーム 明嶺荘	嶺240	10 ゆうゆうホーム	古屋292-1	
	2 特別養護老人ホーム のどの荘	野殿1599-1	11 ゆうゆうホーム第2	古屋292-4	
	3 特別養護老人ホーム うすいの里	松井田町高梨子1491-1	12 カノンの家	原市1546-1	
	4 本多病院	鷺宮205-1	13 安中市障害児者生活サポートセンター	原市1544-11	
	5 介護老人保健施設 うららく	鷺宮205-1	14 安中市在宅重度心身障害児者等デイサービス ふれあいの家	大竹599	
	6 特別養護老人ホーム なゆた	鷺宮389	15 特別養護老人ホーム 桑聚	松井田町二軒在家776-1	
	7 安中市障害者支援センター	松井田町新堀401	16 グループホームけやき	中宿1-9-17	
	安中市障害者支援センター 別館	松井田町新堀372-1	17 小規模多機能ホームゆうゆう	中宿1-9-6	
	8 エルビスあけぼの	原市1544-11	18 グループホームなないろ	中宿2153-1	
	9 フィロスあけぼの	原市1544-11			
板鼻地区	名称	所在地			
55	板鼻第5区集会所	板鼻2087-1			
秋間地区	名称	所在地	名称	所在地	
56	1区3班集会所	西上秋間409-1	59	秋間第15区公民館	中秋間1367-3
57	みのりが丘集会所	秋間のりが丘3-174	60	秋間農村公園	下秋間1480-1
58	パノラマパーク	秋間のりが丘 地内	61	自性寺集会所	下秋間310
後閑地区	名称	所在地	名称	所在地	
62	下後閑公会堂	下後閑1338-1	67	11区公会堂	中後閑1679-1
63	旧後閑3区住民センター	下後閑1479-1	68	12区公会堂	中後閑2314-3
64	下後閑西集会所	下後閑15-1	69	14区公会堂	中後閑2662
65	下後閑コミュニティセンター	下後閑1429-1	70	上後閑山里ふれあいの会(旧18区集会所)	上後閑2686-2
66	中後閑ふれあいセンター(旧9区集会所)	中後閑611			
松井田地区	名称	所在地	名称	所在地	
71	上本町公民館	松井田町新堀704-7	77	仲町駐車場	松井田町松井田582
72	中宿住民センター	松井田町新堀388-16	78	下町集会所	松井田町松井田815-5
73	新町公民館	松井田町新堀236-19	79	新田町公民館	松井田町松井田138
74	森崎住民センター	松井田町新堀6	80	北横町住民センター	松井田町松井田842-2
75	上町住民センター(公園)	松井田町松井田549	81	南横町公民館	松井田町松井田421
76	仲町公会堂	松井田町松井田400-2	82	南横町自治会駐車場	松井田町松井田273-1
白井地区	名称	所在地	名称	所在地	
83	麻芋茶屋	松井田町横川441	87	高墓住民センター	松井田町五科1825-3
84	おぎのやドライブイン東側駐車場	松井田町横川327-22付近	88	小竹公民館	松井田町五科3798-5
85	西尾公会堂	松井田町五科2780	89	平地区多目的活動施設	松井田町五科656
86	梨の木公民館	松井田町五科1408乙			
坂本地区	名称	所在地	名称	所在地	
90	くつろぎの郷 駐車場	松井田町坂本1258	96	旧市立松井田西中学校校庭	松井田町原53
91	坂本公民館 駐車場	松井田町坂本216	97	旧入牧生きがいセンター跡地	松井田町北野牧18201
92	坂本・原生きがいセンター	松井田町原405	98	下平生活改善センター	松井田町西野牧16832
93	坂本スポーツ広場	松井田町原 地内	99	恩賀住民センター	松井田町西野牧17293-5
94	原生活改善センター	松井田町原240	100	中区公民館	松井田町入山甲648
95	灘田住民センター	松井田町原641			
西横野地区	名称	所在地	名称	所在地	
101	上人見公会堂	松井田町人見1806	108	烏留住民センター	松井田町二軒在家686-9
102	塚原公会堂	松井田町人見535	109	三日市住宅団地公園	松井田町二軒在家650-63
103	大王寺公会堂	松井田町人見889	110	別所住民センター	松井田町二軒在家1311-2
104	大王寺団地公園	松井田町人見1533-1	111	八城集会所	松井田町八城441
105	高野谷戸公会堂	松井田町人見1015-8	112	八城西住民センター	松井田町八城170-1
106	二軒在家公会堂	松井田町二軒在家822	113	源ヶ原公会堂	松井田町八城1451-2
107	烏留公会堂	松井田町二軒在家413-3	114	行田公会堂	松井田町行田101-1
九十九地区	名称	所在地	名称	所在地	
115	下増田集会所	松井田町下増田2056	118	九十九地区生涯学習センター	松井田町国衛115-1
116	転作促進施設(上高梨子公会堂)	松井田町高梨子1286-1	119	小日向ふれあいセンター(小日向ふれあい広場)	松井田町小日向777
117	下高梨子公民館	松井田町高梨子812-1			
細野地区	名称	所在地	名称	所在地	
120	土塩2区公会堂	松井田町土塩1568	124	旧6区ゲートボール場	松井田町新井1423-3
121	土塩1区住民センター	松井田町土塩893-9	125	上増田東区9東公会堂	松井田町上増田3509
122	細野4区多目的集会施設	松井田町土塩107-2	126	十二区住民センター	松井田町上増田993-1
123	新井5区住民センター	松井田町新井752	127	11区多目的集会所	松井田町上増田2054

想定されている地震を知る

県内の活断層

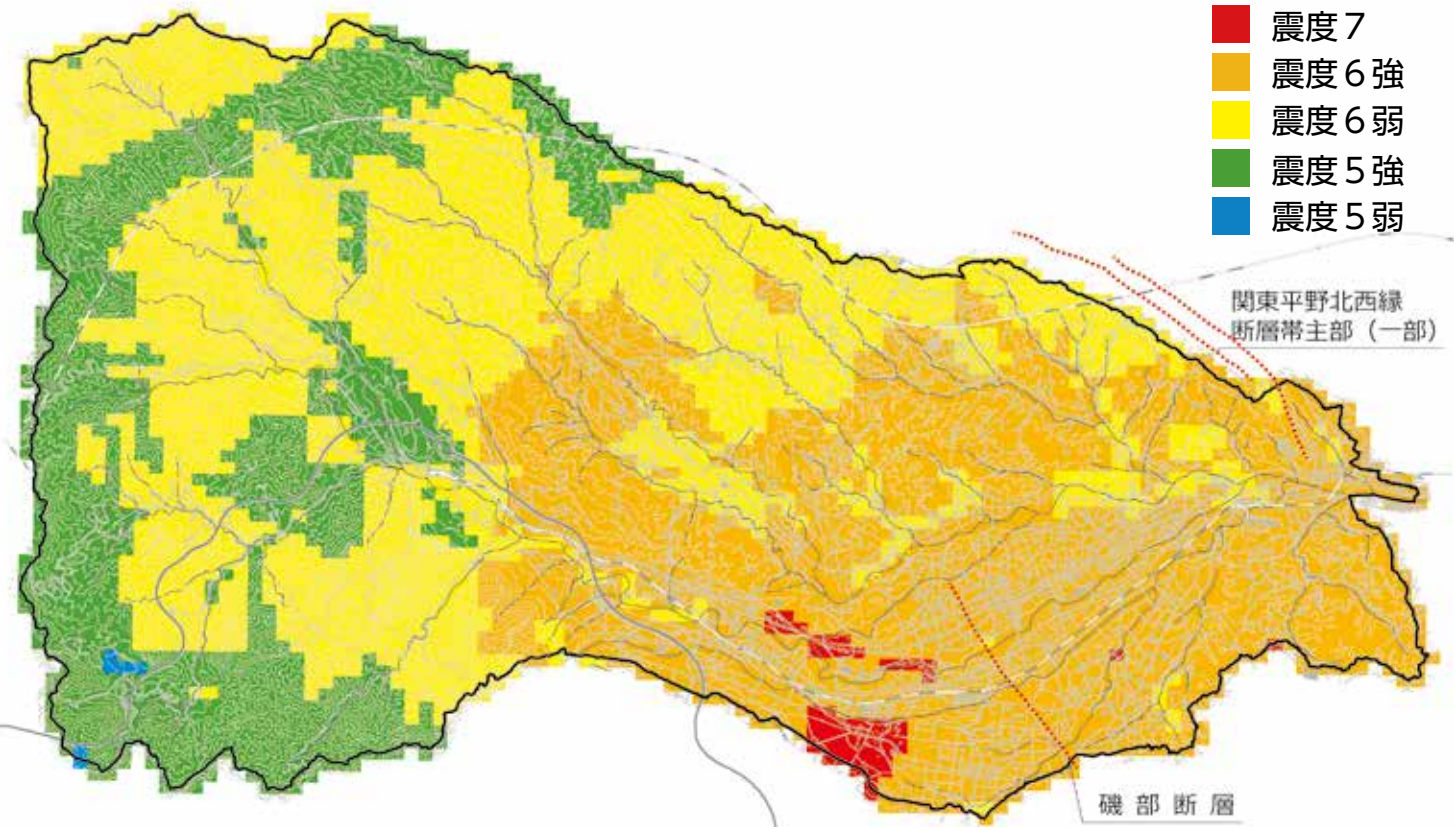
地震が少ないといわれている群馬県内にも、約 10 の活断層が確認されています。平成 24 年に群馬県が行った「地震被害想定調査」によると、多くの人が寝ている冬の早朝に、高崎、藤岡市などを通る活断層による地震が起こった場合、死傷者は最大で 20,876 人にのぼると予測されています。

今後 30 年以内の発生確率は極めて低いとされますが、大地震はどこでも起こりうると考えて備えてください。



震度分布

平成 24 年に群馬県が行った「地震被害想定調査」の県内の活断層として「関東平野北西縁断層帯主部」「片品川左岸断層」「太田断層」の 3 つと県外の 2 つの活断層を想定した場合の最大の震度分布です。なお、この調査では碓部断層は想定されていません。



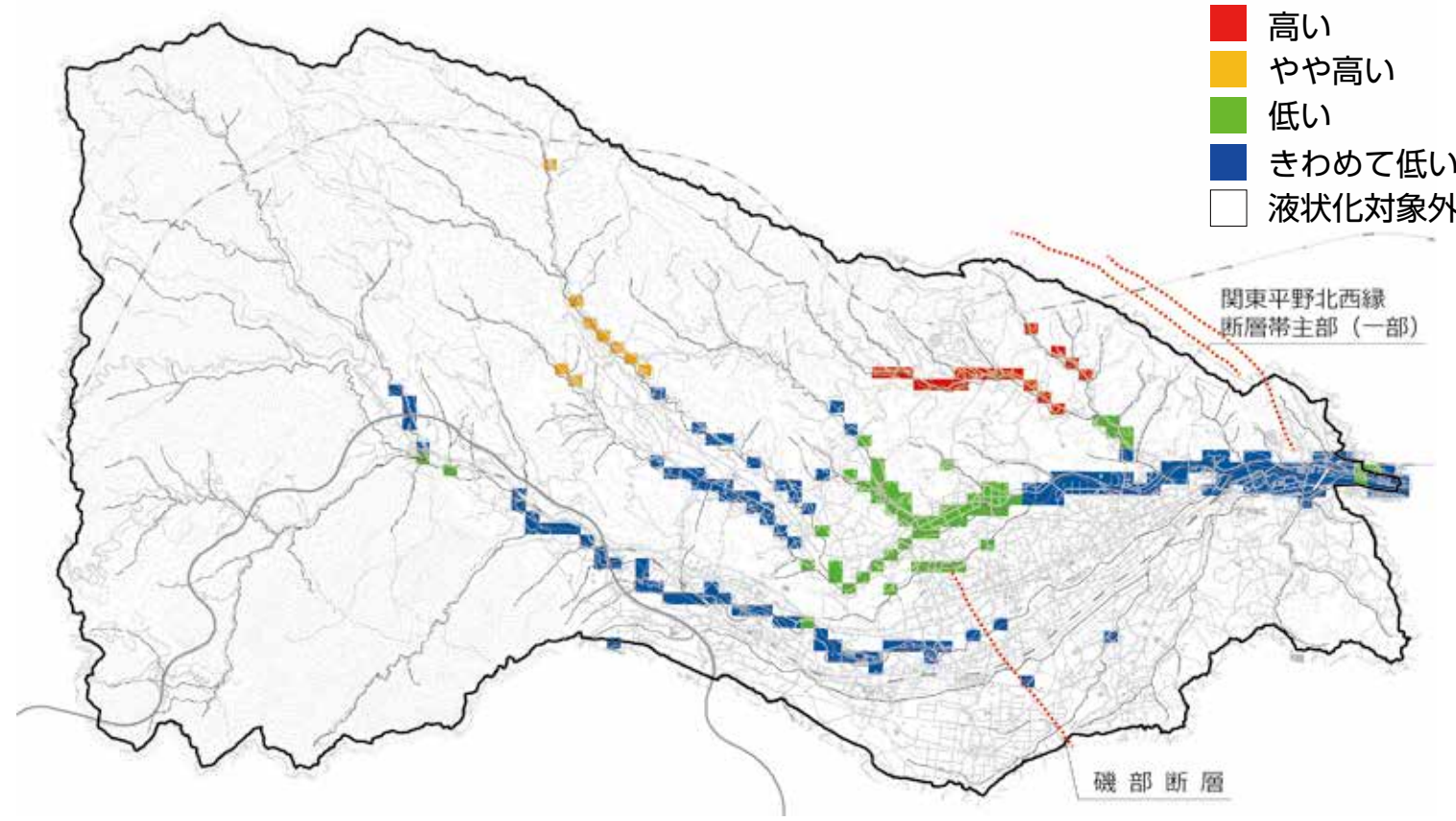
震度って？

震度階級ごとの揺れによる被害をみてみましょう

震度 5 弱	震度 5 強	震度 6 弱	震度 6 強	震度 7
◎大半の人が、恐怖を覚え、ものにつかまりたいと感じる ◎棚にある食器類や本が落ちることがある	◎物につかまらなと歩くことが難しい ◎固定していない家具が倒れることがある ◎補強されていないブロック塀が崩れることがある	◎立っていることが困難になる ◎壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある	◎はわないと動くことができない、飛ばされることもある ◎大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山林の崩壊が発生することがある	◎耐震性の低い建物は、傾くものや倒れるものが多い

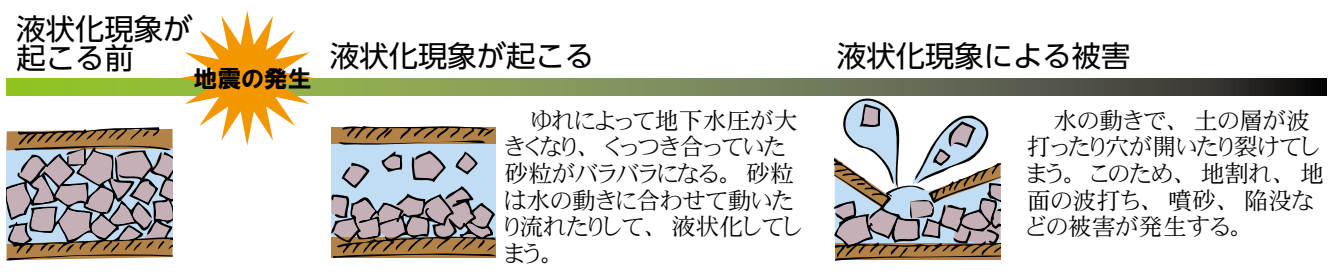
液状化危険度

平成 24 年に群馬県が行った「地震被害想定調査」の県内の活断層として「関東平野北西縁断層帯主部」「片品川左岸断層」「太田断層」の 3 つの活断層を想定した場合の最大の液状化危険度です。なお、この調査では碓部断層は想定されていません。



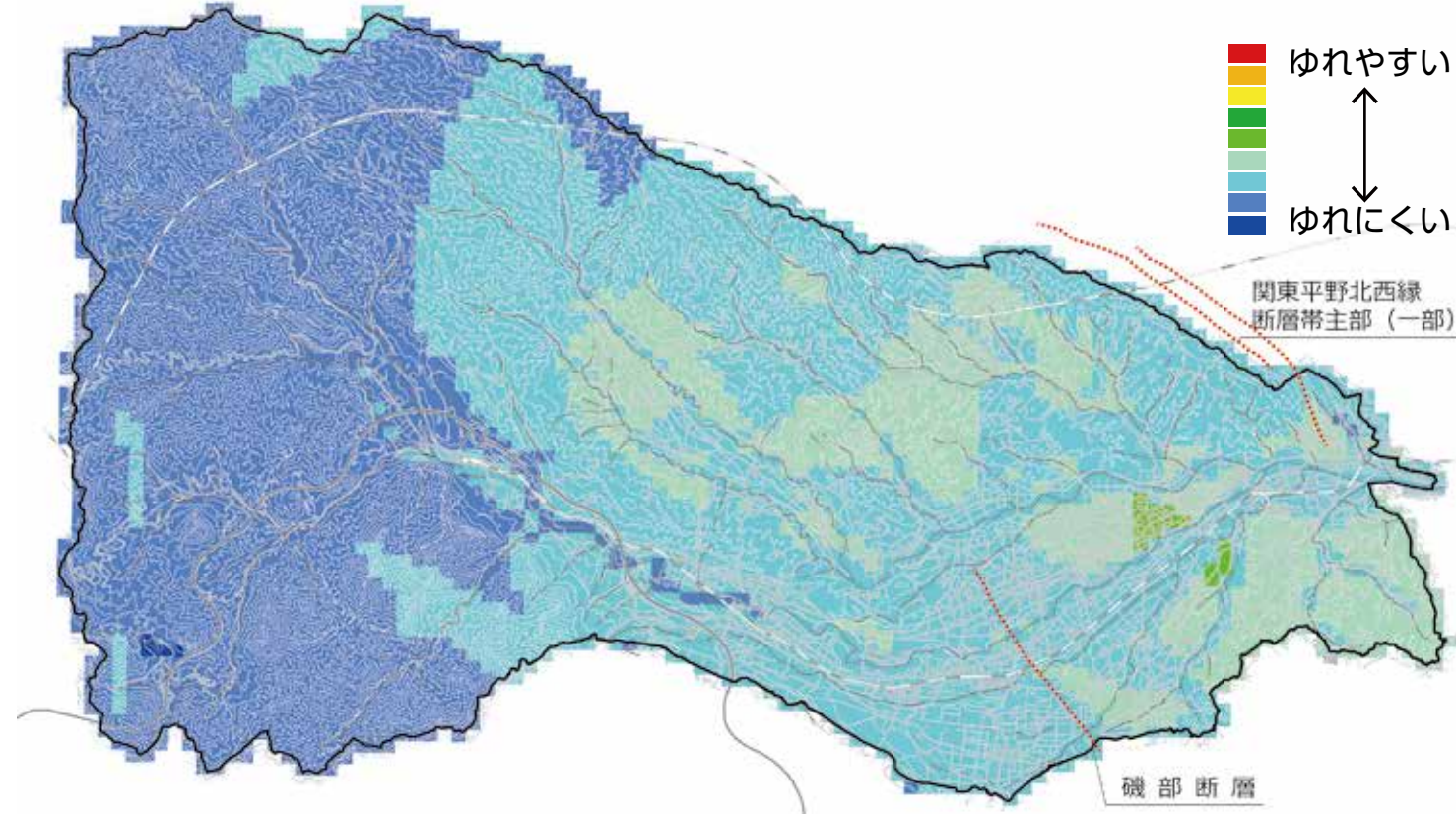
液状化って？

液状化現象は、地下が砂の層であり、地下水位が高い場所でゆれが発生すると起こりうる現象です



ゆれやすさ

平成 24 年に群馬県が行った「地震被害想定調査」において、全国どこでも発生しうる地殻内の浅い場所で発生する地震として安中市役所の直下に「予防対策用地震」の震源を設定し、算出した結果です。



地震から命を守る

平成7年の阪神・淡路大震災では犠牲者の約8割が建物の倒壊や家具の転倒で命を落としています。
地震の被害は一瞬のため、起こる前の備えが第一です。特に建築基準法に定められた耐震基準が見直された昭和56年以前に建てられた木造住宅の場合は、必要に応じて耐震補強しましょう。

心得5 事前の対応が最も重要

災害から命を守るかどうかは、災害が起こる前後の行動で決まります。そのなかでも、大きく影響するのは、事前（発災前）の対応です。

発災前

事前（地震発生前）

家具の固定

建物の耐震化

揺れへの備え

事前（地震前）の対応が重要です

非常持出品の準備

グラツときたら、まず身を守る

地震

地震発生後

！

阪神・淡路大震災の犠牲者の約8割が家屋倒壊や重い家具の転倒で命を落としています。

避難は？

自宅で生活できそうなときは避難所に避難する必要はありません

以下のようなときは避難しましょう。

◎ 余震により、家が倒壊する危険があるとき

◎ 周辺で火災が発生しているとき

◎ 余震により、がけ崩れの危険があるとき

車中避難

車中での避難をする場合は、周囲の安全を十分に確認してください。

グラツときたら？

まず身を守る

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたら、すぐに身を守りましょう。

屋内にいるとき

● ドアや窓を開けて避難路を確保しましょう。

● 机やテーブルなどの下で頭を守り、揺れがおさまるのを待ちましょう。

● 揺れがおさまったら、通電火災を予防するため電気のブレーカーを落として、ガスの元栓を締めたりして、落ち着いて避難しましょう。

通電火災・・・地震などに伴う停電が復旧する際に、破損した電気機器の漏電、可燃物への引火、ガス漏れへの引火等が原因で発生する火災。

屋外にいるとき

● 建物、木、電柱から離れ、かばんなどで頭を守り、小さくなって揺れがおさまるのを待ちましょう。

身の回りの地震対策を
チェックしましょう

■ 屋根の軽量化

■ 柱・梁を補強

■ 厚手のカーテン

■ 通電火災を防ぐため、地震を感知して電気をストップする、感震ブレーカーの設置も有効

■ ブロック塀ではなく生け垣など

■ 基礎・土台を補強

■ 扉に留め具

■ 火元に消火器

■ 家具を固定する

■ アンテナなどはしっかり固定

■ 揺れるものはひもで固定

■ 近くの窓にはカーテンが飛散防止フィルムを

■ 家具の転倒のおそれのある場所に寝ない

■ 枕元に靴と懐中電灯

■ ガラスでのけがを防ぐ

■ 子ども部屋、居間、ダイニングの窓や食器棚などのガラスには飛散防止のフィルムを貼る

■ 寝室の家具の配置を考える

■ 家具の転倒を防ぐ

■ 常時水を貯める

■ ヒートン

■ 針金

※固定用の針金は太さ1ミリ以上のもの

※L型金具やヒートンの固定は壁の下地のあるところや横木に

■ 平型金具

※ピアノの固定方法はメーカーや購入店に相談しましょう

■ すべり止め

■ 圧縮ボール（突っ張り棒）

※横揺れには弱いので、外れることがあります

情報は？

緊急地震速報は唯一の事前情報

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまでの時間はごくわずかで、この短い間に落ちてくるものや倒れてくるものを避け、あわてずに身の安全を確保しましょう。

速報が間に合わない場合もありますので、地震の揺れを感じたときは身を守る行動を心がけましょう。

危険

こんな被害が発生します

重い屋根は揺れやすい

アンテナなどが落ちる

屋根瓦が落下

家が壊れる

室内灯が割れる

高い所の物が飛ぶ

テレビが飛ぶ

ガラスが割れ床に散乱

火事が発生

家具が転倒

基礎がゆがむ

出入り口がふさがれる

食器が散乱

トイレも水が出ない

扉が開かなくなる

ブロック塀が壊れる

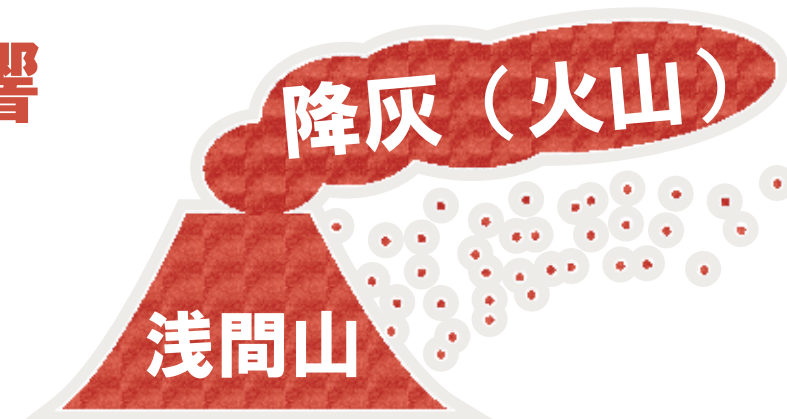
地震から命を守る

地震から命を守る

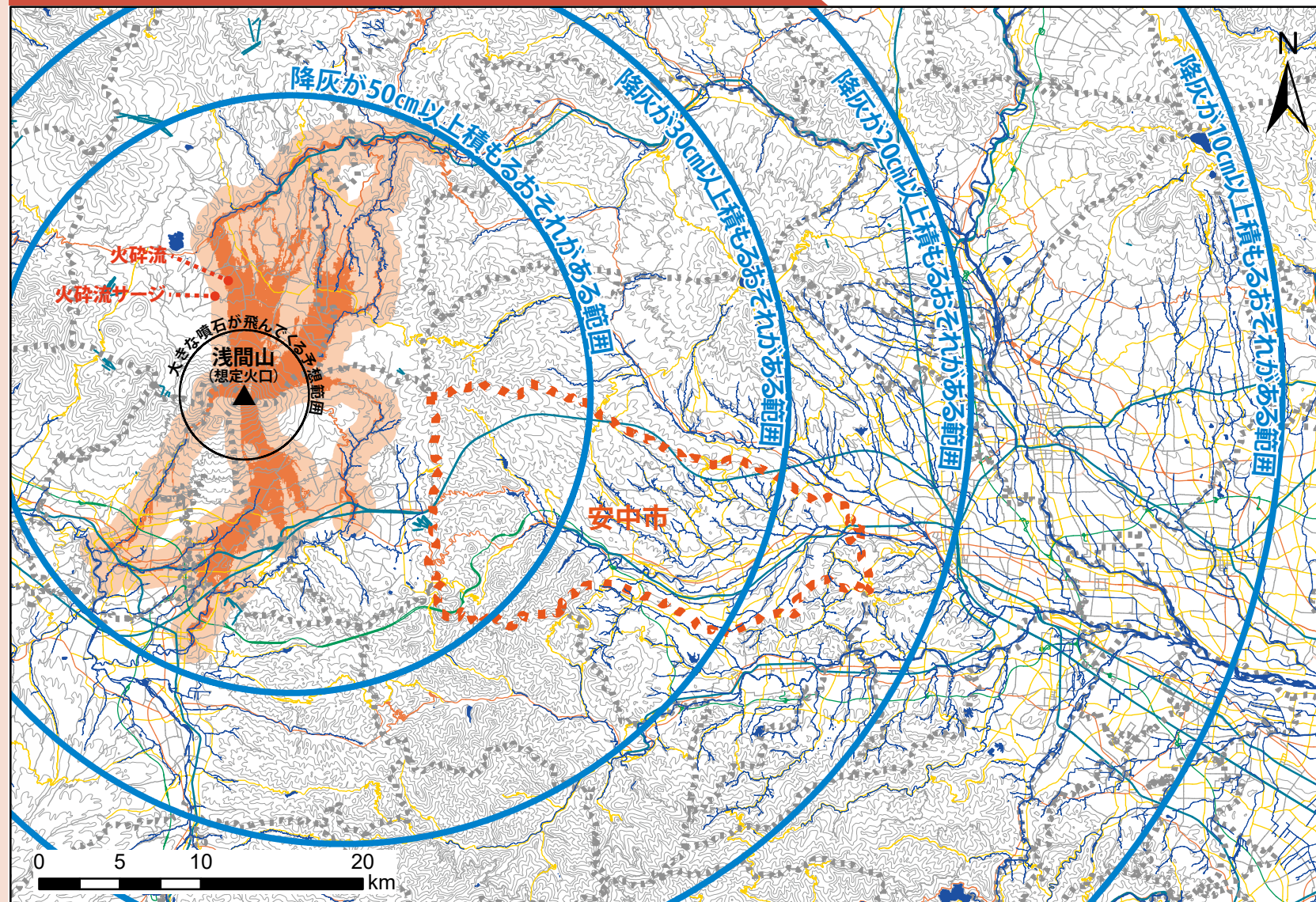
浅間山噴火の影響

浅間山では、天仁噴火（1108年）、天明噴火（1783年）などの大規模な噴火が発生しています。明治以降大規模な噴火はありませんが、小～中規模の噴火は頻繁に発生しています。

将来、大規模な噴火が発生する可能性も考えられ、安中市には降灰の影響が予想されています。



浅間山大規模噴火時の降灰の影響範囲



浅間山火山ハザードマップ（平成30年3月公表：浅間山火山防災協議会）を基に作成

降灰って？

降灰による被害や生活への影響をみましょう

堆積厚によらない影響

- ◎目、鼻、のど等の気管支等に異常を生じることがある
- ◎呼吸器疾患や心疾患のある人は、症状が悪化する可能性が高い
- ◎視界低下により、道路の安全通行が困難
- ◎水道水の水質悪化や断水
- ◎下水道処理能力の低下や機能不全

堆積厚ごとの被害や影響

3cm～	10cm～	30cm～	45cm～
◎自動車の走行不能（降雨時）	◎自動車の走行不能	◎木造家屋の倒壊（降雨時）	◎木造家屋の倒壊
◎土石流発生の可能性（降雨時）	◎基地局の不具合が生じると通信障害の可能性		
	◎体育館等の大型建物の損壊		
	◎倒木等による電線切断により、停電が発生（降雨時）		

（出典）中央防災会議防災対策実行会議大規模噴火時の広域降灰対策検討ワーキンググループ「大規模噴火時の広域降灰対策について―首都圏における降灰の影響と対策― ～富士山噴火をモデルケースに～（報告）：令和2年4月」を参考に整理

浅間山噴火時に必要な行動

噴火や風向・風速の状況に応じて対応をとりましょう。

降灰により家屋倒壊の可能性がある範囲（30cm以上の降灰が予想される地域）にお住まいの方

- 火山灰の重みによる木造家屋の倒壊が想定される降灰厚に達する前に降灰が想定される範囲外へ避難。

その他の地域にお住まいの方

- 噴火前の地震等、火山活動活発時に、地域を離れることが可能な人は、降灰が想定される範囲外へ避難。
- 噴火中、降灰が想定される範囲に残っている人は備蓄を活用して自宅・職場等に留まり、必要に応じて、利用可能な交通機関を使って降灰が想定される範囲外へ避難。

避難の際には防塵ゴーグルとマスクを着用しましょう。



噴火と降灰のイメージ



噴火警報	噴火に関する火山観測報	
・浅間山の噴火の可能性が高まった場合、噴火警報が発表されます	・噴火が発生したことや、噴火に関する情報（噴火の発生時刻・噴煙高度・噴煙の流れる方向・噴火に伴って観測された火山現象等）を噴火後直ちに知らせる情報	
降灰予報（定時）	降灰予報（速報）	降灰予報（詳細）
・噴火警報が発表されると、噴火前であっても噴火を仮定した降灰の範囲等の予報が発表	・事前計算された降灰予報結果から適切なものを抽出し、噴火後速やかに（5～10分程度で）発表。 ・噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲	・噴火の観測情報等を基に降灰予測計算を行って発表（噴火後20～30分程度で発表） ・噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布や、降灰開始時刻
噴火を仮定し 18時間先まで予測 3時間毎に発表	噴火発生後5～10分で発表 1時間位以内の降灰量と小さな噴石の落下範囲	詳細な計算により、噴火後20～30分後に発表 噴火発生から1時間ごとに、6時間先までの市町村ごとの降灰開始時刻を予測

調べる

気象庁

<http://www.jma.go.jp/>

噴火警報や噴火速報、降灰予報など



心得6

みんなで決めて、みんなで避難

避難の決断は、ひとりでは難しいものです。避難を誘う声かけや、一緒に避難する人を決めて助け合いながら避難するなど、みんなで逃げる方法も考えておきましょう。

日頃から…

避難先や
避難のタイミングを
みんなで決めておく



1人では
避難できない人を
みんなで把握する

地区防災計画の主な検討項目

- ☐ 避難のタイミングの検討
- ☐ 避難先・避難方法・避難経路の確認
- ☐ 要配慮者への支援体制づくり
- ☐ 安否確認のルールの構築
- ☐ 避難所運営のルールの構築

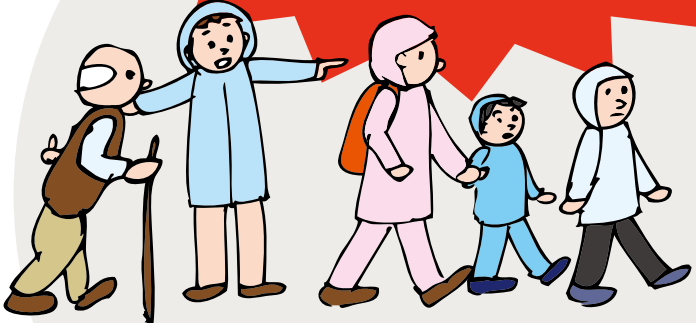
など

防災訓練で確認しましょう

災害時を想定した防災訓練等を実施し、いざというときに適切な活動ができるか確認しましょう。

そのときがきたら…

みんなで
逃げよう！



例えば…

早めに近所に
声をかけて避難
をする



自主防災組織をつくろう！

自主防災組織とは・・・「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づき、自主的に結成する組織です。平常時には災害に備えた取組を実践し、災害時には被害を最小限に食い止めるための応急活動を行うなど、地域の方々が連携し防災活動を行います。区や自治会など、すでに地域内にある組織を活用して結成する方法が一般的です。

●市の認定を受けた自主防災組織が実施した事業に対して補助を行っています●

【安中市自主防災組織事業補助金】

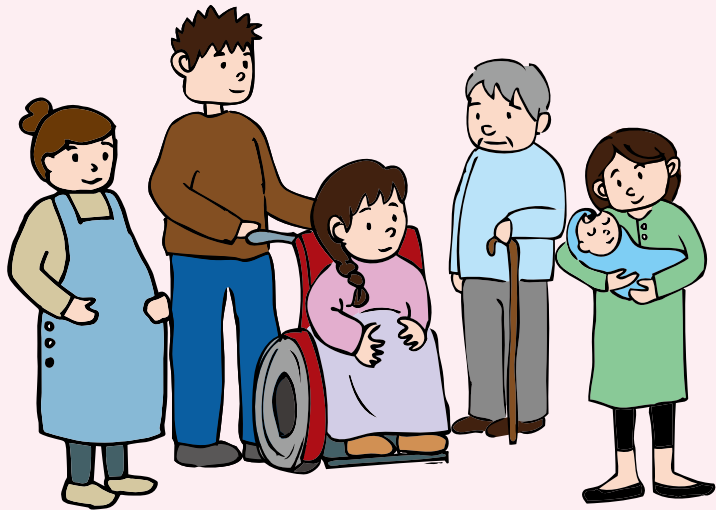
補助対象事業	補助対象経費	補助率	補助金の上限額
防災訓練事業	自主防災組織が実施する防災訓練において使用する消耗品、炊き出し用の食料及び訓練用の資機材の購入費用等	10分の5	50,000円
防災資機材等の購入事業	自主防災組織が災害時に使用する防災資機材及び備蓄物資の購入費用等	10分の10	30,000円
防災に関する意識啓発事業	自主防災組織が防災に係る知識の普及及び啓発のために要した経費、講演会、研修会等の開催に要する費用等	10分の10	20,000円

※補助対象事業ごとに1回／年度の交付となります。

※自主防災組織の認定や補助金の申請については、安中市ホームページをご覧ください。総務部危機管理課までお問い合わせください。

☎ 027-382-1111 (総務部 危機管理課)

災害で逃げ遅れたり 犠牲になるかたの多くは 高齢者等の避難に 支援が必要な方です



市では、要配慮者の避難施設を指定しています。

市では、災害が発生した際に、一般の避難所での生活が困難な要配慮者（高齢者や障害者、その他の特別な配慮を必要とする方）を受け入れるための施設として、**指定福祉避難所**を指定しています。

※ 指定福祉避難所は、その時の状況や必要に応じて開設される避難所であるため、発災当初から利用できる避難所ではありません。

指定福祉避難所の一覧は 36 ページ

災害発生など緊急時の避難に支援を要する人 （避難行動要支援者）の名簿を作成しています

市では、避難支援などが必要となる人の名簿（避難行動要支援者名簿）を作成しており、この名簿情報を活用することにより、関係機関や地域が連携して災害に関する情報の伝達や避難支援などを迅速かつ安全に行うことができます。

災害の発生に備え、避難支援等関係者（区長、民生委員、自主防災組織、社会福祉協議会、消防組織、警察など）へ名簿情報を提供するためには、本人の同意が必要です。対象者は「同意確認書」に必要事項を記入の上、ご提出ください。

避難行動要支援者に該当する人

- ① 要介護3以上の認定を受けている人（年齢問わず）※施設入所者を除く
- ② 65歳以上の単身者で要介護1、2または要支援1、2の認定を受けている人
- ③ 肢体機能障害（1級又は2級）、視覚障害（全等級）、聴覚障害（2級又は3級）、呼吸器障害（全等級）、療育手帳所持者で50歳以上の人、精神障害者手帳保持者又は自立支援医療受給者で単身者
- ④ 上記に該当しない人（障害や難病などにより自力避難が困難な人）

※災害の規模や状況によっては支援
を受けられない場合もあります。

避難行動要支援者名簿に関する問い合わせ

☎ 027-382-1111

要介護認定者に関すること：保健福祉部 高齢者支援課
障害者に関すること：保健福祉部 福祉課
名簿の提供に関すること：総務部 危機管理課

災害用伝言板（Web171）

携帯電話やスマートフォン、インターネットから伝言を文字入力・確認できます。文字数は1伝言あたり100文字以下です。

<https://www.web171.jp/>



災害用伝言ダイヤル 171

災害用伝言ダイヤル 171 に電話をかけると、伝言を録音したり再生することができます。なお、災害用伝言ダイヤル 171 は、災害の発生により、被災地へ安否確認や問合せなどの電話が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されます。

伝言を残すには（録音方法）

171に電話

▼

ガイダンスに沿って1を押す

▼

ガイダンスに沿って自宅（被災地）の固定電話番号を市外局番からダイヤルする

▼

※ 連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号に伝言を残すこともできます。

伝言を入れる 録音は30秒以内

伝言を聞くには（再生方法）

171に電話

▼

ガイダンスに沿って2を押す

▼

ガイダンスに沿って連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号を市外局番からダイヤルする

▼

※ 自宅（被災地）の固定電話番号に録音された伝言を、被災者の方が聞くこともできます。

伝言を聞く

携帯電話・スマートフォンの災害用伝言板

携帯電話各社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、ワイモバイル）の携帯電話から伝言を文字入力できます。

（使い方）

各携帯端末のトップ画面から「災害用伝言板」にアクセスし、画面の指示に従って操作してください。

災害時の連絡先・問い合わせ先

行政機関		
安中市役所（災害対策本部）	https://www.city.annaka.lg.jp/	027-382-1111
群馬県庁	https://www.pref.gunma.jp/	027-223-1111
安中消防署		027-382-1818
安中警察署		027-381-0110
安中土木事務所		027-382-1350
国土交通省関東地方整備局 高崎河川国道事務所碓氷出張所	https://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/	027-393-0495
ライフラインに関すること		
東京電力パワーグリッド株式会社	https://www.tepco.co.jp/pg/	0120-995-007
安中市上下水道部	https://www.city.annaka.lg.jp/waterworks/	027-382-1111
東日本電信電話株式会社（NTT 東日本）	https://www.ntt-east.co.jp/	113
交通情報・道路状況・気象情報		
JR 東日本お問い合わせセンター	https://www.jreast.co.jp/	050-2016-1600
安中タクシー		027-381-0888
群馬バス	https://www.gunbus.co.jp/	027-374-0711
ボルテックスアーク	https://www.vortex.gr.jp/group/ark/	027-381-1919
JR バス関東	http://www.jrbuskanto.co.jp/	0267-22-0588
日本中央バス（株）	http://ncb.jp	027-287-4000
群馬県内の大雨等による通行規制情報（国道・県道）	http://www.kendobousai-gunma.jp/kisei/RegulationList.htm	
日本道路交通情報センター	https://www.jartic.or.jp	050-3369-6666
日本道路交通情報センター携帯電話短縮ダイヤル		#8011
気象庁	http://www.jma.go.jp/	177

非常持ち出し品・備蓄品



事前にチェック

避難の際に持って行くもの



避難所の備蓄品には限りがあり、高齢者や身体の不自由な方や乳幼児などへ優先的に配付されますので、自らが十分な準備をすると安心です。非常持ち出し袋には、両手の空リュックサックが便利です。重すぎないかどうか、いちど背負ってみましょう。

- ①あまり重いと避難行動に支障がでるので、重すぎる場合は減らしましょう。
- ②水を注ぐだけで簡単にできる、比較的軽い乾燥食品などを用意しましょう。
- ③各自に1つのリュックを用意し、それぞれ持ち出しやすい場所に分散して保管しましょう。

■非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- ☐ 非常食（クラッカーなど）・飲料水
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 懐中電灯（予備の電池も）
- ☐ ろうそく（太くて安定のよいもの）
- ☐ 生活用品（ライター、ナイフ、ロープ、缶切り、ティッシュペーパー、ビニール袋、歯ブラシ、消毒用アルコール、マスク※など）
- ☐ 衣類（下着、上着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなど）
- ☐ 救急薬品（ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、かぜ薬、鎮痛剤、目薬、とげ抜き、体温計など）

※マスク、消毒用アルコールはウイルスなどの感染防止にも役立ちます

■家族構成によって必要なもの

- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 生理用品
- ☐ 常備薬（持病のある方は忘れずに）
- ☐ 高齢者や障がい者のための準備品（介護用品など）

■避難時の必需品

- ☐ 雨具（カッパ）
- ☐ 手袋
- ☐ ヘルメット（防災ずきん）
- ☐ 安中市災害対応ガイドブック（この冊子）
- ☐ 貴重品（預金通帳、マイナンバーカード、健康保険証、免許証、住所録のコピーなど）
- ☐ 現金（紙幣だけでなく、公衆電話用の10円硬貨も）
- ☐ スマートフォン・携帯電話（充電器）

■あると便利なもの

- ☐ 毛布・寝袋
- ☐ カセットコンロ（ガス）
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 割りばし
- ☐ 床に敷くシート
- ☐ 食品用ラップ

事前にチェック

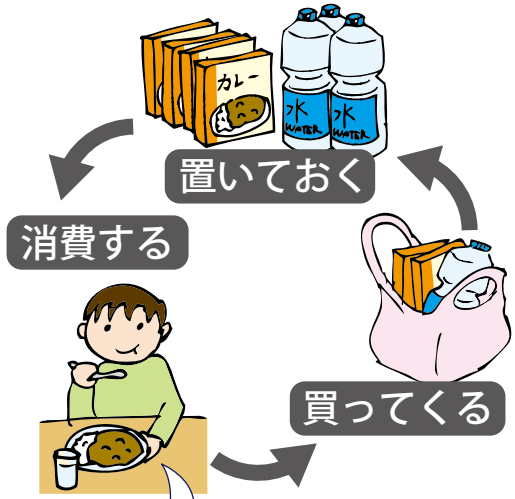
自宅に備蓄しておくもの

ライフラインの停止は長期に及ぶ可能性もあります。ライフラインが復旧するまでの数日間のために、飲料水や食料などの備蓄があると安心です。

- ☐ 日頃の買い置き ▶ 保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す（ローリングストック方式）
- ☐ 食料及び飲料水 ▶ 水を加えて食べられる米（アルファ化米）、缶詰、乾パン、インスタント・レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
1週間分を推奨
- ☐ トイレ用品 ▶ 簡易トイレ、汚物保管用容器、トイレ袋、トイレトペーパー
- ☐ 燃料 ▶ カセットコンロ、ガスボンベ、固形燃料

ローリングストック方式

少し多めに食料を買っておき、使った分を補充する備蓄方法です。



いつも食べてるものだから、もしものときに元気が出るね！

わが家の避難計画【マイ・タイムライン】

考えよう

1 避難先 自宅からの避難先を逃げどきマップ（13-34ページ）で確認してメモしておきましょう。

：原則：

早めの避難先

- 親戚や知人宅、ホテルや旅館など市内に限らず、より安全な場所
- 最寄りの浸水が想定されていない指定避難所

：逃げ遅れたら・・・：

その場そのときで命を守れる場所へ

- 高い建物や高い場所
- 自宅の高いところ・斜面から離れた場所
- 市の避難所・避難場所に限らず、駆け込めるところ

2 避難の前の備えやいつ避難を開始するかをメモしましょう。

おおよその時間の目安	発信される情報や状況など	主な備え [メモ欄]	備えの例
3 日前	台風発生 台風予報		●テレビ、インターネットなどで今後の台風を調べ始める ●家の周りに風で飛ばされるようなものがないか確認
2 日前	大雨注意報 洪水注意報 台風の今後の見通し		
1 日前	大雨警報 洪水警報		●避難するときにもっていくものを準備 ●携帯電話を充電 ●住んでいるところと上流の雨量を調べ始める ●ハザードマップで避難場所や避難の方法を確認 ●川の水位を調べ始める
半日前	氾濫注意水位到達 レベル3 高齢者等避難 危険な場所から 高齢者等は避難		●携帯メールなどで避難情報を受信 ●避難しやすい服装に着替える ●避難指示を受信 ●安全なところへ移動を始める
	避難判断水位到達 レベル4 避難指示 危険な場所から 全員避難		
	レベル5 緊急安全確保 直ちに安全確保		※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が重要です。